

サステナビリティレポート 2025

2025年8月発行



1.会社情報

会社概要

企業理念・トップメッセージ

製品紹介

2.サステナビリティ経営

サステナビリティマネジメント・推進体制

マテリアリティの特定と進捗

サステナビリティ推進関連団体への参加・社外からの評価

ISE2025における当社のサステナブルな取り組み紹介

3.環境活動

環境担当役員メッセージ・環境理念と行動指針

環境経営推進体制と環境ISO認証活動

環境経営活動状況（製品活動）

環境配慮型製品の創出

製品リサイクルへの取り組み

グリーン調達への推進

環境マネジメントシステム

環境規制・性能表示における取り組み

環境経営活動状況（事業所活動）

環境負荷低減活動（エネルギー使用量）

環境負荷低減活動（廃棄物排出量）

4.社会活動

CSR経営基本方針

サプライチェーンCSRの推進

責任ある鉱物調達への取り組み

品質・お客様満足

人権・労働

ダイバーシティ・マネジメント

人事制度

人材育成

労働安全衛生の取り組み

社会貢献活動

5.ガバナンス

コーポレートガバナンス体制

内部統制体制

コンプライアンス推進の取り組み

汚職と贈収賄防止のための取り組み

知的財産に関する取り組み

輸出管理の取り組み

情報セキュリティ管理・対策強化の取り組み

事業継続計画と防災対策の取り組み

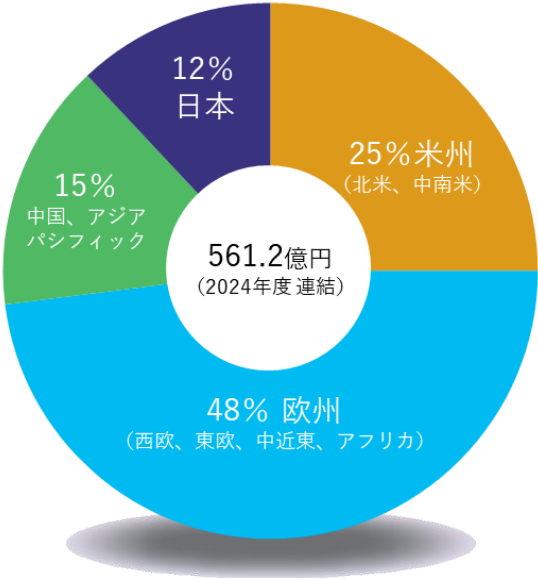
コンプライアンスに関する通報窓口

商 号	シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社 (Sharp NEC Display Solutions, Ltd.)
本 社	東京都港区三田一丁目4番28号 (三田国際ビル)
資本金	30億円 (シャープ、NEC出資)
事業内容	映像表示装置および映像表示ソリューションの開発、製造、販売
従業員数	595名 (連結)
設立時期	2000年1月18日
営業開始日 (社名変更)	2020年11月1日
売上高	561.2億円 (2024年度 連結)
地域別売上比率	25%米州 48%欧州 15%中国、アジア・パシフィック 12%日本
拠 点	湘南テクニカルセンター 奈良事業所
海外販売会社	Sharp NEC Display Solutions of America, Inc. (北米) Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH (欧州)
中国事業統括会社	Sharp NEC Display Solutions (China), Ltd. (中国)

役員一覧

代表取締役会長	徳山 満
代表取締役社長執行役員	山本 利明
取締役 (非常勤)	木村 健一
取締役 (非常勤)	岡本 寛文
取締役 (非常勤)	土手 信三
取締役 (非常勤)	草場 俊紀
取締役 執行役員	皆川 泰紀
執行役員	薬師寺 厚二
執行役員	福田 和哉
監査役 (非常勤)	泉 誠
監査役 (非常勤)	大山 善久
監査役 (非常勤)	吉田 健介

地域別売上比率



(2025年3月31日現在)

企業理念

お客様に感動と満足いただけるクオリティの高い映像ソリューションを提供します

ビジョン

私たちは豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ

感動のある新たな日常をつくります

経営方針

- 全てのステークホルダーから信頼される会社であり続けます。
- バリューチェーンの全てにおいて、最先端の技術と最高の知識を駆使し、
世界で最適のクオリティの商品・サービスをお客様に提供します。
- 新市場の創造に挑戦し、成長し続けます。
- いかなる環境においても企業責任を果たし、環境変化に適応し続けます。
- よき企業市民として、企業倫理とコンプライアンス、環境保護に取り組みます。
- 企業の成長と個人の成長を共に図る人材育成・能力開発に取り組みます。



シャープNECディスプレイソリューションズは、
これまで培ってきた技術力やグローバルな販売体制をベースに、
パートナー企業やお客様とともに、豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ、
感動のある新たな日常をつくりだし、社会に貢献していきます。

私たちはこれからも、社会課題の解決に取り組み、
サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



代表取締役社長執行役員
山本 利明

当社は、映像ソリューション事業を通じて社会と共に発展すると共に、気候変動をはじめとした環境問題やさまざまな社会課題が深刻化するなか、社会課題解決のために貢献することが、経済活動を担う私たちの社会的責任であると感じております。

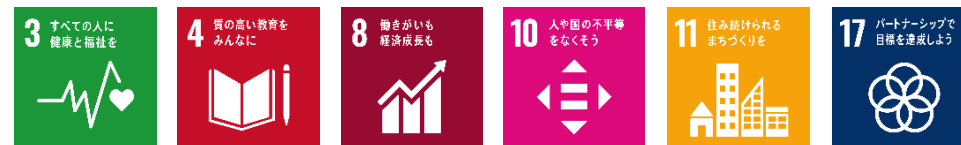
これまで環境を中心とした活動を展開してきましたが、多岐にわたる社会課題をサステナブルな経営で解決していくため、当社は2023年度よりサステナビリティ・ワーキンググループを発足し、環境(Environment) 社会(Social) ガバナンス(Governance)というESGの観点で、シャープ長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」に同期させながら、世界の販売拠点と一体となった取組みを推進してきました。

2024年度はシャープグループ内の映像関連事業を担う事業へのシフトを進め、事業運営の効率化と融合を加速するなかで、サステナビリティワーキンググループもシャープと連携した推進体制に変更し、グループ全体での取組みを加速、事業活動を通じて、環境保全、人権の尊重・労働環境の整備、安全衛生の推進、公正取引の実践・倫理感の醸成等の社会課題に継続的に取り組んでいます。

シャープNECディスプレイソリューションズはステークホルダーの皆さまと共に、引き続き社会課題に正面から向き合い、その解決に取り組むことによって持続可能でよりよい世界の実現に貢献して参ります。

シャープNECディスプレイソリューションズが注力するSDGsのゴール

「豊かな映像を通じた社会貢献」



「環境配慮型製品の創出」



「産業廃棄物のリサイクル促進」



当社製品のラインアップの詳細は [当社Webページ](#) をご覧ください。



スタンダードモデル

コンパクトさを追求しながら、画質や省エネにもしっかり配慮
接続・設置・調整、操作性に優れたモデル。



短焦点モデル

投写距離を十分とれない小さな会議室や教壇スペースでも、
大画面投写を可能にする短焦点プロジェクター。



プロフェッショナルモデル

常設・可搬両用で幅広い設置ニーズに応え、
明るい会議室や教室でも使いやすい、大空間対応多機能プロジェクター。



DLP Cinema®プロジェクター

映像の質感までを伝える表現力、プロの現場における確かな信頼性で、
さまざまなシアターに対応可能なDLP Cinema®プロジェクター。



会議・ミーティング向け／デジタルサイネージ向け パブリックディスプレイ

さまざまな業種・用途で威力を発揮し、
高い信頼性と耐久性を誇る大画面ディスプレイ。



LEDマルチスクリーン

明るい環境下でも色鮮やかで視認性が高く、
継ぎ目のないシームレスな大画面マルチスクリーンを構成する
屋内用／屋外用フルカラーLEDディスプレイ。



ITディスプレイ

先進のエコロジーと使いやすさを両立。
利用シーンと用途に合わせ、充実のラインアップ。



ビジネスPCセクション

NECのビジネスPCセクションメニューで選択可能な
液晶ディスプレイを豊富にご用意いたしました。



特殊用途向け（15型）

セキュリティ、工作機器監視表示機、産業機器監視表示機、情報端末、
会計端末、金融端末など、さまざまなニーズに応える産業用ディスプレイ。

お客様のニーズに応え、オフィス、店舗、公共施設、交通機関、ホテル、美術館やホールまで、様々な用途に応える各種の映像ソリューションを世界に提供しています。

■ 空港で求められる高い品質によりスムーズな情報提供を実現（ヒースロー空港）



■ 視認性が高い映像表示により、人々の視線を集めるサイネージ（羽田空港免税店）



■ 駅構内にて、利用客の体験向上を目的にコンテンツを大画面表示（パリ地下鉄）



■ 高品質でエネルギー効率の高いLEDマルチスクリーン（オスロ都市環境局）



サステナビリティ経営



サステナビリティマネジメント

私たちはこれまでも地域ごとに異なる課題の解決に積極的に取り組んできましたが、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速するため、また活動意義とゴールイメージをグループ全体で共有するため、2023年度よりサステナビリティ・ワーキンググループを発足し、2024年度はシャープグループと連携を深めながら活動を展開しています。

各部門のサステナビリティ推進者で構成されるサステナビリティ・ワーキンググループは、毎月ワーキンググループミーティングを開催し、重要課題テーマについての具体的な施策検討、実行計画立案等の意見交換を進めています。
その内容はサステナビリティ経営責任者に報告共有され、指導助言を受けながら全社横断の活動を推進しています。

製品活動

製品活動においては「プロモーション、品質、商品企画/開発」に細分化し、重点的に活動をおこなっています。本活動においては、製品仕様の見直しとプロセス構築を重要項目として位置づけ、技術ロードマップと商品ロードマップを紐づけながら、持続可能なイノベーションを実現するために様々な施策を講じています。

事業所活動

事業所環境活動を継続すると共に、社会の本質的な課題と向き合い、多様な人々が活躍できる社会の実現を目指した取り組みを進め、公正取引の実践、倫理感の醸成、地域社会価値の向上に継続的に取り組んでいます。

サステナビリティ推進体制



マテリアリティの特定と進捗

社会課題解決のための注力すべき重要課題を特定し、これらの解決を重要な経営課題の一つとして位置付け、世界の販売拠点と一体となった取組みを進めています。

注力するSDGsのゴール 重要課題	活動項目	2024年度 目標	実績
豊かな映像を通じた社会貢献 	豊かな映像を通じた社会貢献	「人」と「情報」をつなぎ、お客様に感動と満足を提供する	新たな社会価値を創造し、お客様のニーズに応える映像ソリューションを提供
	地域社会への貢献	開発拠点 湘南テクニカルセンターにおける社会貢献活動の継続	地域社会と連携した社会貢献活動を実施 地域清掃、献血、募金活動等
	多様な人々が活躍できる社会の実現	- 多様性の考え方を促す活動 - 仕事と家庭の両立ができる土台作り	- DE&Iに関する情報発信 - 関連団体への参加を通じた意見交換 - 一般事業主行動計画に沿った活動実施
環境配慮型製品の創出 	持続可能なイノベーション実現に向けた 環境配慮型設計を推進	- サステナビリティ関連仕様の製品設計及び評価の強化 - グリーンプロダクト(GP)ガイドラインに基づくGPポイント60pt以上	- サステナビリティ関連仕様の製品仕様書への落とし込み、チェックプロセスの構築 - 全ての対象製品(全8機種)60pt以上達成
産業廃棄物のリサイクル促進 	資源循環、省資源の推進	- 廃棄物排出量の削減 - 産業廃棄物の有価率 5年平均30.0%以上 - 当社製品の資源再利用率の向上 - バージンプラスチック使用量削減 - 製品/梱包材に再生材の使用	- 廃棄物の回収・解体・分別ルール化 5年平均有価率 34.8% - 発泡プラスチックを廃止し、リサイクル可能な素材へ切替開始

サステナビリティ推進関連団体への参加

おいまちSDGsパートナーに認定

神奈川県 大井町にある製品開発拠点、湘南テクニカルセンターにおいて、当社のサステナビリティ活動を評価いただき、町と共に取り組む「おいまちSDGsパートナー」に認定されました。詳細は [大井町ホームページ](#) をご覧ください。



D&Iかながわメンバーズ登録

当社はすべての人が働きやすくなるようジェンダー平等を核としたダイバーシティ＆インクルージョンの取組を推進するなかで、D&Iかながわメンバーズの一員として活動しています。



社外からの評価

EcoVadis

当社はEcoVadis社のサステナビリティ評価において、対象企業上位15%に与えられる「シルバーメダル」を3年連続で取得しています。

EcoVadis社は、世界185カ国15万社以上の企業にCSR・サステナビリティ評価を実施する世界的な評価機関です。企業のCSR方針や施策を「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4領域から評価しています。



Invidis Green Signage Award 受賞

環境に配慮した事業展開は海外でも評価されています。環境への負荷を最小限に抑えた製品・使用済み製品の回収・再資源化サービスは、サステナビリティに貢献するとして2022年度、ミュンヘンで開催されたデジタルサイネージサミットでGreen Signage賞を受賞しました。



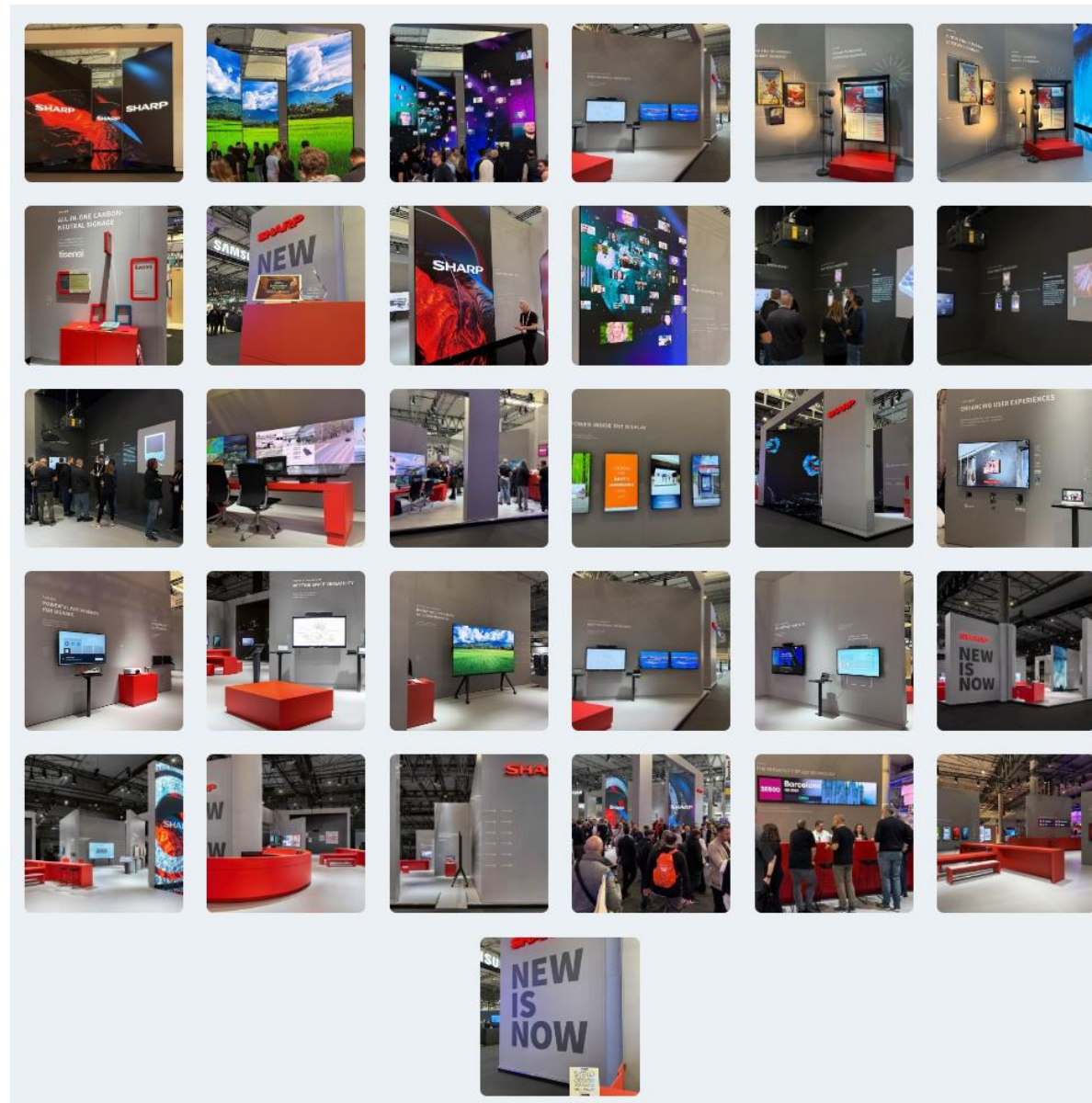
ISE2025における当社のサステナブルな取り組み紹介

ヨーロッパを中心とした世界最先端技術の展示会 ISE2025 (Integrated Systems Europe) に出展し、本展示会のテーマである“NEW IS NOW” をコンセプトに、シャープブランドの次世代製品ラインアップを披露しました。

会場ブース正面に展示した大型440インチLEDウォールは、鮮やかな色彩とダイナミックな映像で訪問者の視線を集めると共に、ディスプレイ技術による持続可能なイノベーションに対する当社のコミットメントを証明しました。

本製品は環境負荷の低減を追求し、従来のLED技術と比較して消費電力と熱放出を最大60%削減するフリップチップSMD技術の機能を実証し、省電力設計によるエネルギー効率に優れた製品となっています。また、ディスプレイの熱放出が削減されたため、空調の負荷軽減につながり、エネルギー使用の節約に貢献します。

会場ブースでは当社の映像技術を体感いただくと共に、製品のライフサイクル全体を考慮した環境配慮型製品やソリューションを紹介することで、お客さまにより多くの選択肢、パフォーマンスの向上、より大きな価値をもたらしました。



環境活動



環境問題を経営の重点課題と位置づけ、社員一丸となって持続可能でよりよい社会の実現に貢献していきます。



取締役 執行役員
皆川 康紀

当社は、地球温暖化や資源枯渇という多様な地球環境問題が顕在化する中、環境への取り組みを企業の責任と認識し、モノ作りにおいて「自然と共生できる製品」の設計、開発を行い、部材調達から生産設備、生産手法、更にリサイクルまでも視野に入れた環境配慮型製品を提供し、持続可能な社会づくりに貢献しています。

また、環境に配慮した最適な事業所の運営を目指す「事業所活動」の取り組みを推進するなかで、各個人の環境に対する意識もサステナブル経営にとって非常に重要であると考え、毎年環境月間の時期に社員に向けて「改めて環境を意識し、個人として何をすべきか」を思い描いていただくためのメッセージを発信しています。

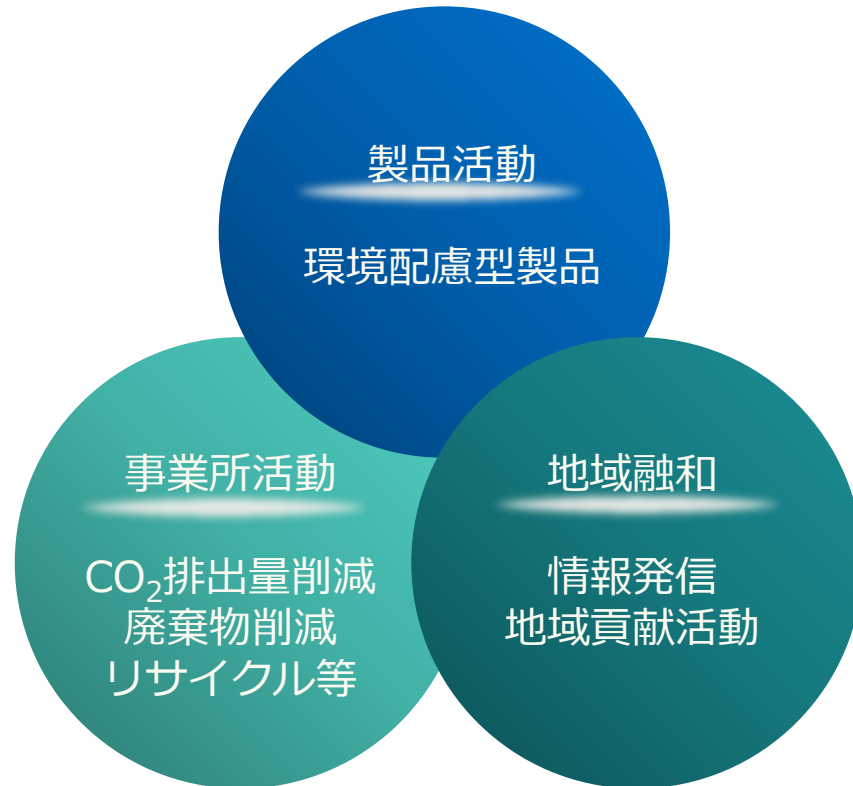
シャープNECディスプレイソリューションズは環境理念と具体的な6つの行動指針に基づき、地球環境保護を経営の重要課題と位置づけ、一人ひとりが環境問題を考え行動することで、社員一丸となって脱炭素社会への移行、循環型社会、環境保全に取り組んで参ります。

環境月間開催にあたってのメッセージ（2024年6月発信）



シャープNECディスプレイソリューションズは、環境に関する大きな責任を率先して引き受け、持続可能な社会の実現に貢献するために様々な取り組みを行っています。

環境理念と具体的な6つの行動指針に基づいて、環境配慮型製品・サービスの創出を目指す「製品活動」、環境に配慮した最適な事業所の運営を目指す「事業所活動」、そして地域社会の一員として「地域融和」を軸に活動を推進します。



環境理念

当社は、環境問題を経営の重点課題として位置づけ、環境配慮型の製品やソリューションの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善により、環境への負荷を低減する事業活動を目指します。
2. 製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に努め、環境に配慮した製品やソリューションの提供を行います。
3. 汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び適応、生物多様性及び生態系の保護に取り組みます。
4. 環境に関する情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。
5. 環境法規制の順守はもとより、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組みます。
6. 環境意識を高揚する啓発や教育を行い、持続可能な社会に貢献する人材を育成します。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「環境」について以下の通り行動基準を定めています。

環境

■製品に含有する化学物質の管理

すべての製品に対して、法令等で指定された化学物質を管理する

■製造工程で用いる化学物質の管理

製造工程において、所在国の法令等で指定された化学物質を管理する

■環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムを構築し、また運用する

■環境への影響の最小化（廃水・汚泥・排気など）

排水・汚泥・排気などに関する所在国の法令等を遵守し、また必要に応じて自主規準をもって更なる改善をする

■環境許可証／行政認可

所在国の法令等に従い、必要とされる場合は行政からの許認可を受け、また必ず要求された管理報告を行政に提出する

■資源・エネルギーの有効活用(3R)

省資源・省エネルギーを実行するための自主目標を設定し、また継続的な資源・エネルギーの有効活用を図る

■温室効果ガスの排出量削減

温室効果ガスの排出量削減を実行するための自主目標を設定し、また継続的削減を図る

■廃棄物削減

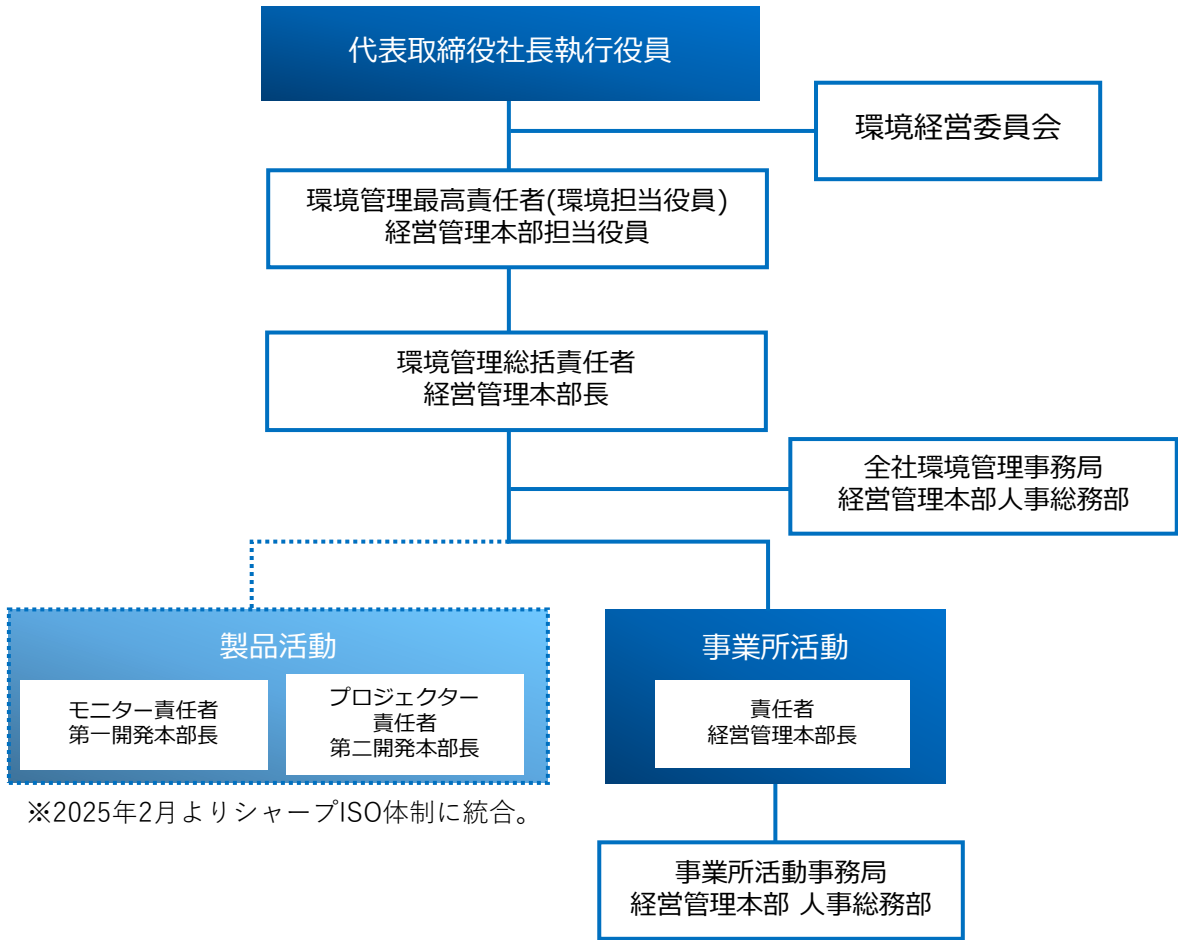
最終廃棄物の削減を実行するための自主目標を設定し、また継続的削減を図る

■環境保全への取り組み状況の開示

環境活動の成果について、必要に応じ開示する

環境経営推進体制

環境方針（環境理念・行動指針）を実践する体制として、社長をトップとした推進体制を整えています。



環境ISO認証活動

当社は、環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。2020年度にNECグループから離脱後、外部認証機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査基準に基づく登録分割審査を受審し、当社単独で認証を取得致しました。今後も同機関の定期監査を毎年受審し、環境マネジメントシステムの前進に取り組めます。



当社の環境ISOの変遷

- 1997年 NEC湘南テクニカルセンターとしてISO14001認証取得
- 2007年 NECディスプレイソリューションズとしてISO14001認証更新
- 2017年 改正版ISOへの準拠
- 2020年 シャープNECディスプレイソリューションズとしてISO14001認証取得
- 2023年 同認証の更新

当社の製品活動において、主力商品であるモニター／プロジェクターの環境管理目標年度計画を立て、実績管理をしています。

2024年度はグリーンプロダクト（GP）ガイドラインに基づいた環境配慮型設計を目標として取り組み、より高い目標値60pt以上を達成する実績を上げることが出来ました。

指標	活動項目	2024年度 目標※シャープISO体制統合前	実績																																															
製品における 環境負荷の低減	環境配慮型設計を推進	目標：環境配慮型設計を推進するため、グリーンプロダクトガイドラインに基づく設計及び評価に取り組む。 2024年度開発モデルのGPポイントについて GPガイドラインに基づくGPポイント：60pt以上	実績：○ 全ての対象製品(全8機種)で、60pt以上を達成 プロジェクター 機種A：74.0pt 機種B：68.3pt 機種C：78.0pt 機種D：84.6pt モニター 機種a：77.8pt 機種b：79.6pt 機種c：65.8pt 機種d：65.8pt																																															
	著しい環境側面への対応	目標：製品開発における以下の取り組み：2項目以上達成 ①製品使用時の省電力化 ②小型化・軽量化（大型製品の重量等の最適化） ③バージンプラスチック使用量削減 もしくは製品/梱包材に再生材の使用	実績：○ 全ての対象製品(全10機種)で、2項目以上を達成 <table><tr><th>種類</th><th>モデル名</th><th>省電力</th><th>軽量化</th><th>再生材</th><th>目標達成度</th></tr><tr><td rowspan="4">PJ</td><td>機種A：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種B：</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種C：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種D：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td rowspan="4">MN</td><td>機種a/b：</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種c：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種d：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr><tr><td>機種e/f：</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>達成</td></tr></table>	種類	モデル名	省電力	軽量化	再生材	目標達成度	PJ	機種A：	○	○	○	達成	機種B：	○	×	○	達成	機種C：	○	○	○	達成	機種D：	○	○	○	達成	MN	機種a/b：	○	×	○	達成	機種c：	○	○	○	達成	機種d：	○	○	○	達成	機種e/f：	○	○	○
種類	モデル名	省電力	軽量化	再生材	目標達成度																																													
PJ	機種A：	○	○	○	達成																																													
	機種B：	○	×	○	達成																																													
	機種C：	○	○	○	達成																																													
	機種D：	○	○	○	達成																																													
MN	機種a/b：	○	×	○	達成																																													
	機種c：	○	○	○	達成																																													
	機種d：	○	○	○	達成																																													
	機種e/f：	○	○	○	達成																																													

環境負荷の低減を追求し、商品開発・部材調達から生産設備・生産手法、更にリサイクル・廃棄まで、製品のライフサイクル全体を考慮した環境配慮型製品やソリューションを提供します。

シャープブランド製品においては、シャープグループ環境基準に基づく製品設計を推進するとともに、NECブランド製品においては、NECの製品アセスメント基準を満たす製品設計を継続しております。



端材プラスチックの有効活用

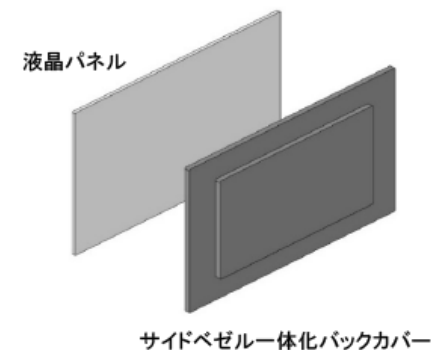
製品成型時に発生するプラスチック片「端材プラスチック」を廃棄する代わりに、製品の原材料として再利用しています。製品のモデルにより差はありますが、製品の原材料のうちおよそ10パーセントをこの再利用した端材プラスチックで補っています。

組立・分解・解体に配慮した構造

大画面液晶ディスプレイの構造を見直し、サイドベゼルとバックカバーを一体化したことにより、従来のモデルからねじの本数を大幅に削減しました。バックカバーを開けるまでに取り外すねじの本数も削減され、回収性に配慮した組立・分解・解体のしやすさを実現、また廃棄物削減に貢献します。

※従来/後継モデル ねじ本数比較

LCD-V654Q:181本→ LCD-M651:100本

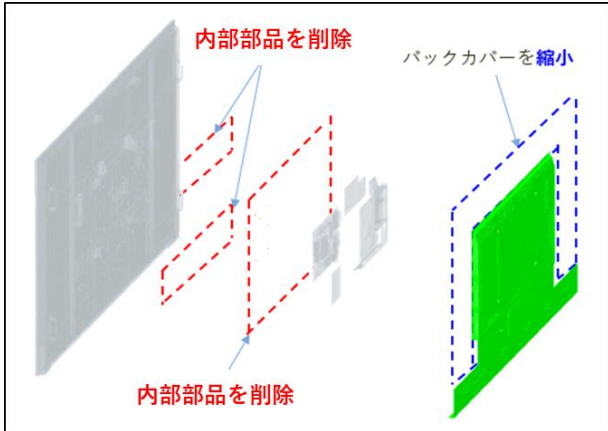


梱包緩衝材の改善

梱包緩衝材は環境に配慮した「100%リサイクル可能な材料」を採用、軽量化を進めることで「廃棄物削減」に貢献します。また圧縮可能な材料を採用することで「回収性の改善」を実現します。

ディスプレイ軽量化

大画面液晶ディスプレイを従来のモデルから軽量化したことで設置の負荷が軽減され、さまざまな映像体験を実現するとともに、輸送時のCO₂削減に貢献します。



内部部品を削除

バックカバーを縮小

内部部品を削除

	代表的な製品	重量	CO2削減率
従来	C751Q	52.6 kg	31%
後継	E758	36.3 kg	
従来	C861Q	57.8 kg	20%
後継	E868	46.0 kg	
従来	C981Q	90.0 kg	27%
後継	E988	65.4 kg	

ディスプレイの省電力化

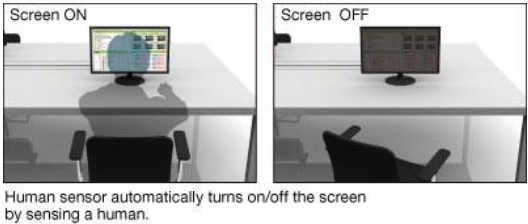
2023年モデルの屋内用LEDマルチスクリーン「FEシリーズ」は、省電力設計により高輝度表示を維持しながら低消費電力での運用が可能となりました。高効率LED部品およびLED駆動ICの効率化により従来機種に比べ消費電力を約70%削減し、年間のCO₂排出量削減に大きく貢献します。

消費電力	従来モデル LED-FE012i2-110	省電力モデル LED-FE012i3-110
約 70 %削減	2000W（最大）	610W（最大）

ディスプレイグリーン機能

■ 人感センサ

人の動きを感知して、画面や音声を自動的にON/OFFします。表示コンテンツの切り替えや画面の輝度、音量の調節等の細かい設定も可能です。



■ 外光センサ

内蔵センサが周囲の明るさを検知して、自動的に画面の輝度を調整します。



■ パワーマネジメント

パソコンの入力信号がないときは、自動的に休止状態に入り、省エネに貢献します。

■ CO₂削減量表示

輝度設定を下げることで削減された消費電力をCO₂排出量に換算して積算表示します。



プロジェクターの省電力化

従来のランプ式に比べて長寿命なレーザー光源を採用、消費電力を低減し、CO₂削減に貢献します。さらにスタンバイ時、使用目的などに合わせてライトモードを選択、ライト調整をすることで、消費電力を抑えることができます。

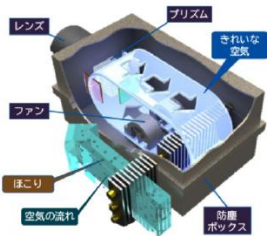
消費電力	従来PAシリーズ	後継PAシリーズ
約 30 %削減	739W（8000lm時）	513W（8000lm時）

消費電力	NC1700L	NC1503L
約 52 %削減	3,807W	1,837W

フィルターレスプロジェクター

フィルターレス液晶レーザー光源プロジェクターにより、ランプの交換や調整にかかる労力やメンテナンスコストを軽減、さらに樹脂廃棄物の削減に貢献します。また、密閉化された光学ユニット内に冷却ファンが内蔵されるためファンノイズが低減され、より快適にご使用いただけます。

メンテナンスコスト・廃棄物を削減



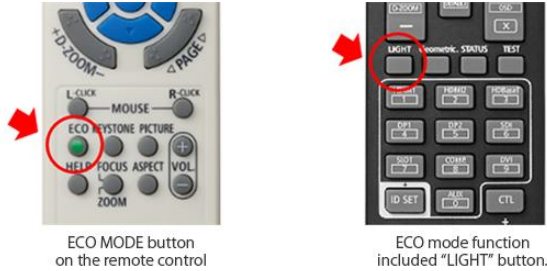
フィルターレスで防塵性能に優れた設計

- メンテナンス軽減
- コスト負担削減
- 廃棄物削減
- ノイズ低減

プロジェクターグリーン機能

■エコモード

エコモードを利用することで、ランプの交換時間の延長／消費電力の低下し、環境負荷低減に貢献します。



■CO₂削減量表示

エコモード設定で削減された消費電力をCO₂排出量(kg)に換算して積算表示します。



Carbon meter in Projector OSD

■スタンバイモード「省電力設定」

スタンバイ時の消費電力を削減できます。天吊り設置等、主電源をオフにできない場合に役立ちます。

地球環境保全と資源の有効活用のため、事業系（法人ユーザー様）の使用済みディスプレイおよびプロジェクターの回収・再資源化システムを構築しリサイクルを推進しています。また、「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で使用済みになったディスプレイの回収・再資源化を行っています。不用品として回収された製品は、素材ごとに分解・リサイクルを行い、資源の有効利用を行っています。

再資源化センター
で行われる処理

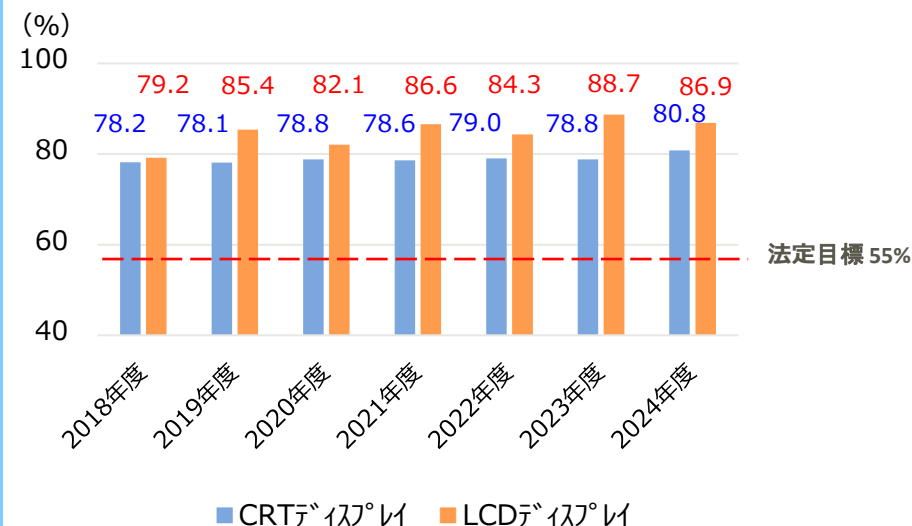
①マテリアルリサイクル
圧縮した素材を溶融し、
建築材などの資材として
再利用する。



②サーマルリサイクル
圧縮した素材を燃焼し、
熱エネルギーとして
再利用する。



当社製品の資源再利用率推移



CRT、LCDディスプレイは、資源再利用率として
法定目標(55%以上)が定められております。

回収

分別

圧縮

リサイクル

⇒グリーン調達ガイドライン

To: _____

(Date)

(Company Name)

(Responsible Person and Signature)

御中

(社名)

(役職)

(宣言者の署名)

(署名は捺印でも可)

製品に含有される化学物質の管理

お客様に製品を安全・安心にご使用いただくために、製品に含有される化学物質を管理することで、健康と環境にもたらすリスクを最小化することを目指しています。

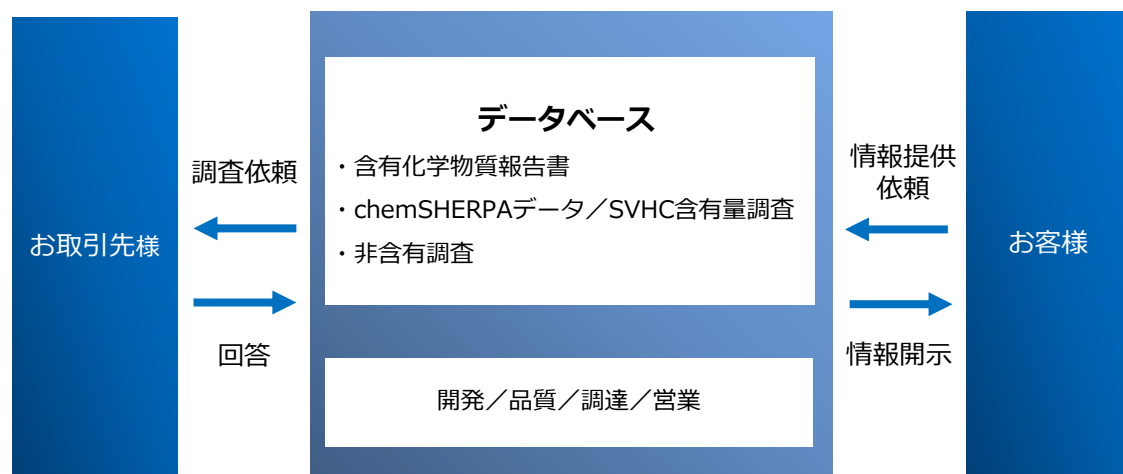
EU REACH規制をはじめとする法令等で指定された化学物質を管理するため、部品・材料に含有される化学物質の量や使用部位などに関する情報を「含有量調査システム」などを通じてお取引先様に入力いただくことで、製品に含有される化学物質の情報を収集、管理を行っています。

化学物質の管理体制

「含有量調査システム」などのデータを使い、各種法規制に定められた禁止物質や管理物質などの管理を行っています。

製品の使用による環境影響を低減するための取り組み

製品の省エネルギー化に取り組むと共に、使用による環境影響を低減し、製品寿命を延ばすために、効率的な使用・保管およびメンテナンスに関する情報を取扱説明書に掲載しています。



各国環境規制/省エネ規制の対応

グローバルに事業を展開する当社は、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組むことを環境行動指針に掲げ、環境法規制の順守を事業展開の重要事項とみなし、製品の開発にあたり全製品において世界の環境規制・指令に迅速に対応しています。

■ 主な環境規制/環境規格

環境・省エネルギー			
EU	USA	China	Japan
EU ErP指令	ENERGY STAR	中国環境ラベル 中国エコラベル 中国省エネ認証	国際エネルギースター グリーン購入法 エコマーク PCグリーンラベル
含有化学物質規制			
EU	USA	China	Japan
POPs条約 REACH規制 RoHS指令 電池規制 包装廃棄物指令	TSCA Green Chemistry法 PFAS規制 有機ハロゲン難燃剤規制	新汚染物質管理行動計画 (中国版POPs) 中国RoHS	化審法 J-Mossグリーンマーク
リサイクル			
EU	USA	China	Japan
EU WEEE Triman Decree		国家勧奨標準 (GB/T18455-2022)	PCリサイクル法 容器包装リサイクル法 段ボールリサイクル協議会

製品への表示対応

各国環境規制/省エネ規制に基づき、基準を満たす製品について表示ラベリングを実施、環境情報・環境配慮性能を見える化することで、お客様に安心して弊社製品をお使い頂けるよう配慮しています。

■ 主な環境表示/ラベル

液晶ディスプレイ		
Energy Star		
		
液晶ディスプレイ・プロジェクター・LEDマルチスクリーン		
日本容器梱包 リサイクル法	段ボールリサイクル	EU WEEE
		
Triman Decree	中国省エネ認証	国家勧奨標準
		

当社の事業所活動においては、環境負荷に与える影響が高いと評価される項目に目標を定め、取り組みを行っています。

2024年度の実績は、目標に掲げたCO₂排出量及び産業廃棄物の有価率向上を達成することで環境負荷低減に寄与しました。

環境関連のイベント実施により環境経営の基盤の更なる強化を図り、環境経営前進の向上を目指しました。

指標	活動項目	2024年度 目標	実績
気候変動 対策の推進	CO ₂ 排出量の削減	目標：CO ₂ 排出量 847.3t-CO ₂ ※以下 ※直近3年間の実績平均(884.5t-CO ₂)から4.2%削減	実績：○ CO ₂ 排出量 761.1t-CO ₂ 達成要因：事務所移転に伴う使用エリアの見直しと閉鎖による 電力使用量の削減
資源循環、 省資源の推進	廃棄物排出量の削減	目標：産業廃棄物の有価率 5年平均30.0%以上	実績：○ 5年平均有価率 34.8%（年度有価率：45.6%） 達成要因：廃棄物の回収・解体・分別ルール化 秘文書廃棄ルートの見直し
環境経営前進 への取り組み	経営トップがリードする 環境経営の実践	目標：下記イベントの実施 ・経営トップメッセージの発信 ・マネジメントレビューの実施と結果の発信 ・環境意識向上のための環境月間等の実施 ・サステナビリティレポートの公開 ・環境教育の計画的な実施 ・環境標準類の更新/見直しの適宜実施 ・地域清掃活動への参加 ・SDGsショートコンテンツの社内掲載 ・ISO認証継続 ・次年度取り組み検討 等	実績：△(91.7%) ほぼすべてのイベントを実施 ・経営トップメッセージの発信 ・マネジメントレビューの実施と結果の発信 ・環境意識向上のための環境月間等の実施 ・サステナビリティレポートの公開 ・環境教育の計画的な実施 ・環境標準類の更新/見直しの適宜実施 ・地域清掃活動への参加 ・SDGsショートコンテンツの社内掲載 ・ISO認証継続 ※次年度取り組みの検討は延期

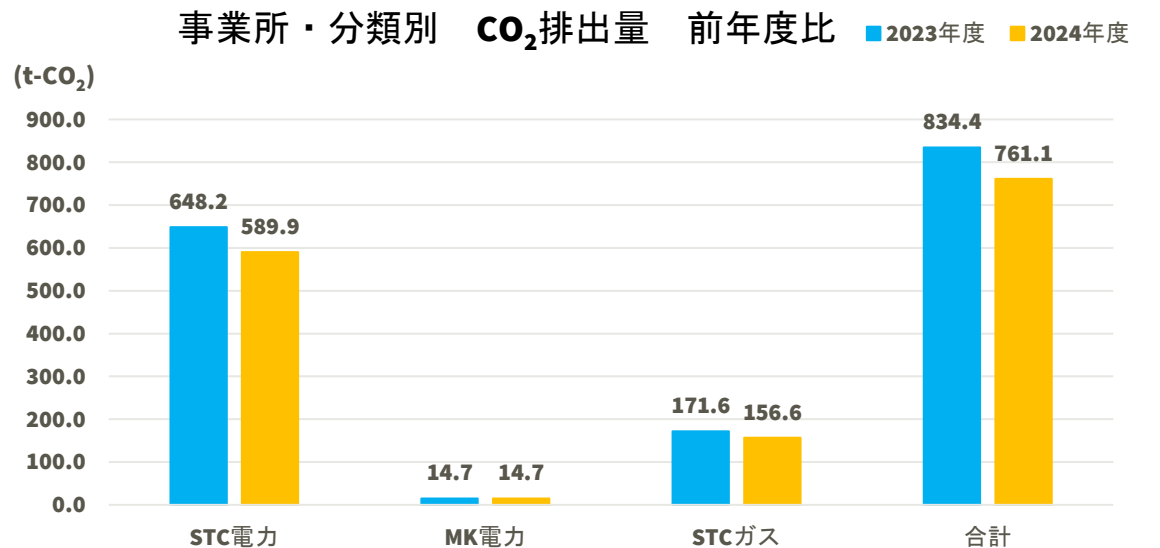
※実績→○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×）

エネルギー使用量削減活動

当社におけるCO₂排出要因は主に電力とガスの使用によるものです。2024年度のCO₂排出量は761.1t-CO₂であり、前年度から約73.3t-CO₂の削減(－8.8%減少)を達成することが出来ました。

電力分野においては、事業所移転に伴う一部実験室の閉鎖と事務所フロアの集約に伴い、事務所電源や照明の使用エリアの縮小を図ったこと、天井灯一斉消灯活動により前年度比58.3t-CO₂削減しました。

ガス分野においては、夏季の屋内ブラインドの全閉と冬季の空調稼働時間の調整により空調運転効率の最適化を図り、前年度比15.1t-CO₂削減しました。



注1：STC＝湘南テクニカルセンター／MK＝三田国際ショールーム
注2：MK(三田国際ショールーム)においてはガス使用なし。

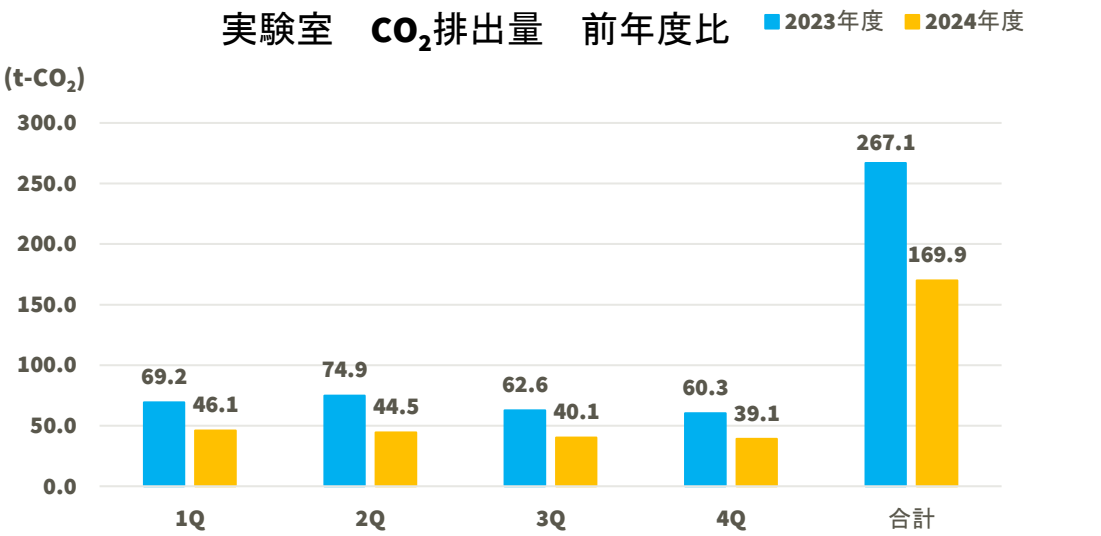
電力使用量見える化の取り組み

日々の電力使用状況を分析し社内情報公開（使用量の見える化）することで、各個人が環境活動をより身近に感じて節電に取り組めるよう努めています。



実験室におけるエネルギー使用量削減

当社の電力使用量の約3割は実験室によるものですが、活動拠点移転に伴い、実験室の一部を閉鎖することでCO₂排出量を前年度より97.2t-CO₂削減しました。

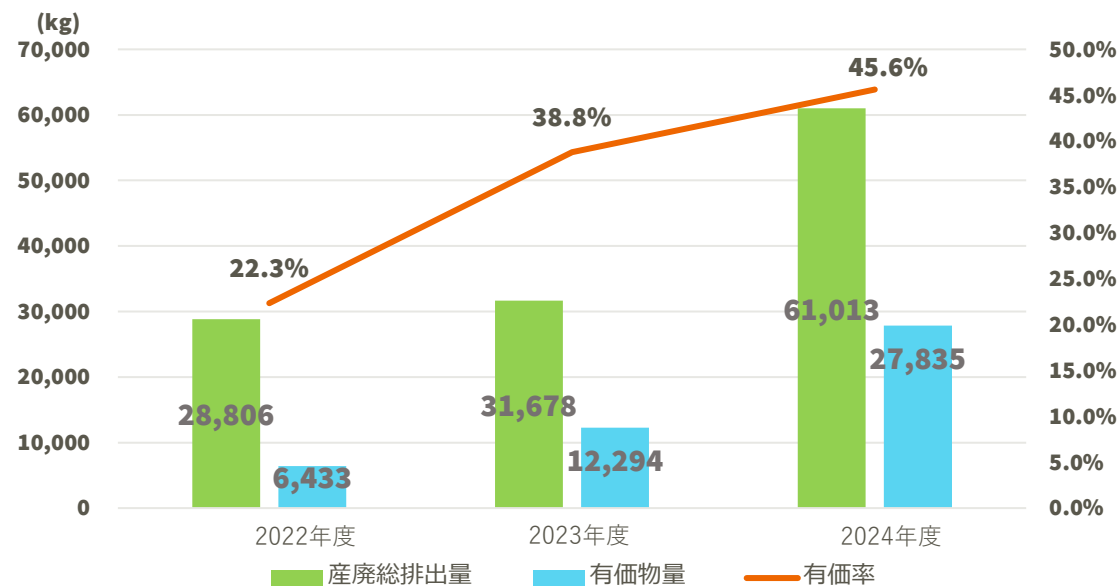


廃棄物排出量削減活動

2024年度の産業廃棄物総排出量に対する有価率は、45.6%を達成しました。部門の事業所移転および一部実験室の閉鎖により、什器類や実験設備等の廃棄が増加したことで、総排出量が前年度比193%と急増したため、有価率向上施策として、下記取り組みを実施しました。

- ・ 事業所内における廃棄物の回収・解体・分別ルール化
- ・ 固定資産廃棄フローの見直しと工数短縮
- ・ 秘文書廃棄ルートの見直し

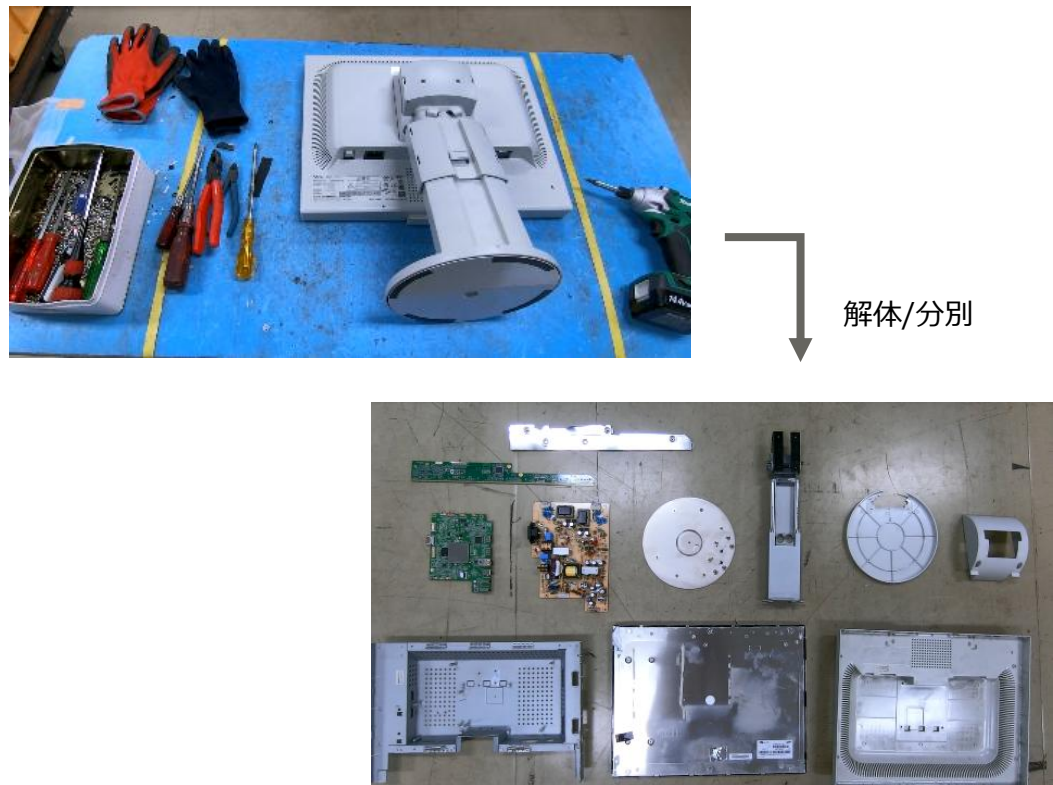
産廃・有価物排出量と有価率の推移



資源循環、省資源の推進

廃棄物排出量が増加したことに伴い、産業廃棄物総排出量に対する有価率向上を目標に、廃棄物の回収・解体・分別をルール化し、工数管理を実施しました。リサイクル品の分別については、素材ごとに解体・分別することで、資源の有効利用、環境負荷の低減に繋がりました。

＜リサイクル分別の一例＞



社会活動



シャープNECディスプレイソリューションズは、お客さまや社会に信頼される存在でありたいという思いで、コンプライアンスを徹底するだけでなく、持続可能な社会実現をめざし、環境(Environment) 社会(Social) ガバナンス(Governance)というESGの観点での取り組みを行っています。また、その成果と課題を積極的にステークホルダーのみなさまに開示し、みなさまとのコミュニケーションをとって自らの企業活動の改善をはかっています。

加えて、そのコミュニケーションから、お客さまや社会の課題解決のためのヒントを得て、新規事業の立上げや既存事業の進化などのイノベーションの創造につなげることもサステナブルな経営のあるべき姿と考え、次の基本方針でCSR(Corporate Social Responsibility)経営を推進しています。

CSR経営基本方針

- リスク管理・コンプライアンスの徹底
- 事業活動をととした社会課題解決への貢献
- ステークホルダー・コミュニケーションの推進

リスク管理・コンプライアンスの徹底

企業が社会に存在し、ステークホルダーの期待や要請に応えるために欠かせないものとして、グループ会社およびお取引先を含め、リスク管理とコンプライアンスを徹底します。そのために、人権侵害や環境破壊など、ステークホルダー、社会や環境に対する負の影響（リスク）の低減や回避をはかります。また、常に「コンプライアンスを最優先とする」意識を持ち、これを実践します。

事業活動をととした社会課題解決への貢献

社会価値創造型企業として、事業推進にあたっては、取り組むべき社会課題の確認と、提供する製品・サービスが社会に与えるインパクトを考える文化を醸成しています。また、この社会課題やインパクトを考える際にSDGsを活用しています。これらを推進することで、社会の本質的な課題を追求し、さまざまなステークホルダーと新たな価値を共創しながら、豊かで明るい社会と未来の実現に貢献します。また、地域社会のみなさまやNPO、NGOと連携した、社会貢献活動をととした社会課題の解決にも取り組みます。

ステークホルダー・コミュニケーションの推進

さまざまなステークホルダーとの対話・協働をととして、お客さまや社会の本質的な課題やお客さまから求められている期待を知り、信頼関係を築いていきます。また、課題に対する取り組みの成果や新たな課題を、CSRレポートなどをととして積極的に開示します。さらに、社会の声を起点として、取り組みを改善するPDCA サイクルを継続的に回すことにより、ステークホルダーのみなさまとの信頼関係を構築し、企業価値の向上に努めます。

サプライチェーン全体でのCSR推進

お取引様とともに持続可能な成長を実現していくために、部品・材料の品質・価格・納期に関する取組みはもとより、サプライチェーン全体で「公正取引・倫理」「環境」「人権・労働」「安全衛生」などのさまざまな分野にわたる企業の社会的責任を果たすことが求められています。

そのため、調達における社会的責任を着実に推進するため、お取引先様向けに当社のCSR調達方針を伝達し、各サプライヤがそれを正しく履行しているかを確認しています。当社の調達における各種ガイドライン詳細は [当社Webページ](#) をご覧ください。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「サプライヤ管理」について以下の通り行動基準を定めております。

サプライヤ管理

当社のCSR調達方針を主要サプライヤに伝達し、各サプライヤがそれを正しく履行しているかを確認する。

CSR推進ガイドブック

当社はお取引様に対し、シャープグループのCSR調達に対する考え方を理解し、実践していただくために、ガイドブックを公開、当社の方針に賛同および実践をいただくようお願いしています。

新規サプライヤ（海外取引先含む）との取引契約の際には、当社の「グリーン調達ガイドライン」および「製品含有化学物質の調達制限に関する基準」「CSR調達ガイドライン」について徹底を依頼し、環境と安全管理に関する宣言書を各サプライヤに宣言していただいております。

お取引様とのより良いパートナーシップを継続するため、日頃の商談活動の中でもお取引先とのコミュニケーションを積極的に図り、サプライチェーン全体で品質向上や安全管理に関する業務向上を図っています。調達パートナーのグローバル化が進むなかで、各地域の調達パートナーに対するサステナブル調達への対応を強化しています。

相談窓口の設置

社外webサイト上にお取引様向け相談窓口を設置しています。これは、調達などの取引に関してコンプライアンスでお気付きのことがあった際に、その旨の苦情処理を行うための窓口です。お取引様からのご通報情報につきましては、ご通報者のプライバシーに十分配慮して取扱うとともに、調査・是正措置につなげることであります。

⇒[お問い合わせ窓口](#)

資材調達部員の教育

社内の資材調達部の社員に対して、法令遵守教育として「下請法」「適正な輸入手続」に関しての社内教育を実施すると共に、WEB等でJEITA※主催の紛争鉱物の講義や下請の講習会に参加しています。

また、サプライチェーンにおける社会的、環境的問題に関する理解を深めるため、RBA※ e-Learning Academyを利用した「RBA行動規範」の研修を受講し、RBA行動規範に沿ったサプライチェーンCSRを推進しています。2024年度までに、専門的知識やスキルを高めるために研修を受講した調達部員の割合は100%です。



RBA行動規範コンテンツ

- ① マネジメントシステム
- ② 倫理
- ③ 労働
- ④ 安全衛生
- ⑤ 環境チェーンの社会的責任

「下請法」遵守を徹底するための監査と教育

「下請法（下請代金支払遅延等防止法）」の遵守を徹底するため、コンプライアンスチェックおよび全社社内教育を継続的に実施しています。

コンプライアンスチェックについては、社内ガイドラインを策定し、ガイドラインに沿った適正な下請取引を行うよう徹底するため、下請取引に関するセルフチェック調査を実施し下請法遵守に対する意識付けを徹底しています。

教育に関しては、本年度は2025年2月～3月にかけて、全社員に対しシャープグループの下請法についてeラーニングを実施しています。調達部員に対しては、下請取引に係る理解を深めるため、シャープグループ教育や社外セミナーへ参加し政府方針への知識の浸透、下請取引適正化に向けた調達活動に取り組んでいます。

教育による知識向上と合わせて、長期休暇に入る前には「内示行為禁止の徹底」についての全社通知を発行するなど、継続的に注意喚起も実施しています。

※一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）責任ある鉱物調達検討会

※RBA（Responsible Business Alliance）グローバルサプライ RBA行動規範コンテンツを推進する非営利団体

IT製品に使用されている鉱物資源には、労働者に深刻な健康問題を引き起こしたり地域社会の環境に被害を引き起こしたりする方法によって採掘されているという懸念があることから、これらの鉱物の責任ある調達が生社会的責務であると考え、CSR行動規範のなかで「責任ある鉱物調達」について以下の通り行動基準を定め、調達お取引様と連携しながら、本方針に基づいた事業活動を行っています。

紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を製品に使用せず、また紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を原材料とする商品を調達しない方針であり、サプライヤに対しこの方針に同意し適切に管理することを要求する。

調達お取引様にも責任ある鉱物調達方針にご協力いただくようお願いするなかで、RMIが発行する国際的な報告テンプレート（CMRT/EMRT）を使用して、3TG+C（スズ、タンタル、タングステン、金+コバルト）の調査を毎年実施しています。

2024年度はお取引様11社の調査を実施、対象全社から報告テンプレートを入手しています。調査回答において責任ある鉱物保証プロセスの基準に準拠していない精錬所が含まれる場合、該当するサプライヤにさらに詳細な調査を実施するほか、対応を協議しています。

※CMRT RMIが提供する紛争鉱物調査帳票

※EMRT RMIが提供するコバルト・マイカ調査帳票

鉱物紛争対応ガイドライン

 シャープNECディスプレイソリューションズの責任ある鉱物調達方針 2020/11/1 本製品に使用されている鉱物資源には、労働者に深刻な健康問題を引き起こしたり、地域社会の環境に被害を引き起こしたりする方法によって採掘されているという懸念があります。 コンゴ民主共和国（DRC：Democratic Republic of Congo）および隣国を含む紛争地域や、高リスク地域（CAHRAs：Conflict-Affected and High-Risk Areas）などで採掘されるズン、タンタル、タングステン、金、コバルトといった特定の鉱物資源は、武装グループの資金調達に使われたり、強制労働や児童労働といった人権侵害を引き起こしたりしています。 そのため、これらの鉱物資源を使用することは、そのような武装グループの活動を助長する可能性があります。 シャープNECディスプレイソリューションズは、これらの鉱物の責任ある調達に社会的責任であると考え、以下の責任ある鉱物調達方針を定めています。 1) シャープNECディスプレイソリューションズは、不当な方法で採掘された鉱物資源を製品に使用しません。 2) シャープNECディスプレイソリューションズは、不当な方法で調達された鉱物を原材料とする部品を調達しません。 【語句の定義】 不当な方法 コンゴ共和国（DRC）およびその隣国を含む高リスク地域（CAHRAs）において、直接的または間接的に武装グループへ資金を提供あるいは利益をもたらし、人権を侵害したり、環境を悪化させたりするような方法 シャープNECディスプレイソリューションズは、当社の責任ある鉱物調達方針に従って、以下の原則を行います。 (1) シャープNECディスプレイソリューションズは、サプライヤーに以下の項目を遵守することを要請します。	シャープNECディスプレイソリューションズの責任ある鉱物調達方針に同意すること。 サプライヤーが責任ある鉱物調達方針を確立すること。 金・C（ズン、タンタル、タングステン、金・コバルト）に対して、販売する製品の責任ある鉱物調達を確保するためのシステム/メカニズムを確立すること。 売する製品が責任ある鉱物調達先からであることを確認すること。 シャープNECディスプレイソリューションズからの、責任ある鉱物調達に関する問い合わせまたはアンケートに協力し回答すること。 シャープNECディスプレイソリューションズは、購入する製品が責任ある鉱物調達であること確認するために、購入製品に対する責任ある鉱物調達の意思、責任ある鉱物調達レポートおよび/またはサプライチェーン内の企業の現地監査を要求する場合があります。 シャープNECディスプレイソリューションズは、サプライチェーンにおける製錬業者を特定し、鉱物調達（エンジニアリング（RMI）：Responsible Minerals Initiative）が提供する紛争地域（CMI）：Conflict Minerals Reporting Template）を使用して、紛争鉱物に対するサプライヤーの組み込み状況を毎年評価します。 シャープNECディスプレイソリューションズは、2019年以降、出所台数の多いディスプレイに関して、RMIが提供するコバルト調達情報（CRT）：Cobalt Reporting Template）を用いた調査対象をコバルトまで拡大しています。 イヤーからの調査回答において、責任ある鉱物保証プロセス（RMAP）：Responsible Assurance Process）の基準に準拠していない製品が含まれる場合、該当するサプライヤー、さらに詳細な調査および/またはRMAP監査を実施するか、他の適合製錬所からの調達を要求します。 製品を提供するお客様から苦情があった場合には、調査した製錬所のリストをCMIおよびRMIに開示しています。 【定義】 責任ある鉱物調達とは、コンゴ共和国（DRC）およびその隣国を含む高リスク地域（CAHRAs）の武装グループに、直接的または間接的に資金を提供し、あるいは利益をもたらすような鉱物を含まない製品、部品、またはコンポーネントを意味します。 サプライヤーは、直接的または間接的に、紛争地域の武装グループに資金提供を行わず、またリスクのある特定の採掘事業において、強制労働や児童労働を含む人権侵害や環境破壊を助長することのないようにします。	ディスプレイソリューションズ 14番28号（三田園地ビル） 「本記事」のご提供先は、 ディスプレイソリューションズのホームページ上に公開された文書が最新版となり シャープNECディスプレイソリューションズ
--	---	--

品質・安全性の確保

シャープNECディスプレイソリューションズでは製品の品質と安全性が最も重要な経営テーマおよび社会的責任のひとつであると考え、「品質方針」に沿って、安全性・品質・信頼性に配慮したより良い製品・サービスの提供に向けて取り組んでいます。

ハイクオリティな映像と安心をお届けするため、当社の映像機器は、企画・設計の段階から出荷時まで、各種の品質テストを繰り返し実施しています。また、導入後もさまざまなサポートやフィードバック体制を築くことで、世界レベルの製品提供を実現しています。

品質ビジョン

世界のお客様に良いと認識して頂ける品質へ

- ・ 業界TOPレベルの品質 [Global Quality Innovation]
- ・ 業界TOPレベルのCS [Global Service Innovation]

品質戦略

- ・ お客様の期待に応える/超える品質を実現
故障率低減
品質イメージ向上
- ・ グローバルブランドに相応しい品質対応の実行
守りの品質 1) と攻めの品質 2) のバランス最適化
 - 1) 壊れる等のマイナス要素を減らす取組を継続
 - 2) 使い易さ、品位等のプラス要素を増やす取組の強化

※2025年度シャープ株式会社スマートビジネスソリューション事業本部 品質方針

品質マネジメントシステム

当社は、従来から製品の品質・安全性の向上に取り組んでおり、1997年より品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001の認証を取得しております。

2024年度はシャープグループとの融合を進め、単独での認証登録から、シャープ株式会社 スマートビジネスソリューション事業本部の関連事業所として認証登録しました。

当社は品質保証活動を推進するため、本規格に基づいた品質保証体制を構築し、運用することで、お客様により一層満足いただける製品の品質、サービスの提供に努めてまいります。



QMSにおけるキープロセス

私たちは商品企画から設計・製造・出荷、そして納品後のアフターケアまで、つねに高いレベルで品質管理を実施し、品質向上へ挑戦し続けています。

商品企画プロセス

マーケティング、商品企画、商品受注、各種契約に関するプロセス

開発・設計プロセス

商品の使用策定から、量産開始までのプロセス

製造・出荷

商品の安全性・品質が実現できているかを検証・審査するプロセス

アフターサービスサポートプロセス

アフターサービス及びそれを支援し管理するプロセス

世界レベルの製品を提供するために、通常の品質マネジメントを行う品質保証部とは別に、設計・評価に特化した部門として品質革新部を設置しています。商品企画の段階から品質管理に取り組み、機能・性能などのチェック、信頼性評価などを行っています。

企画・設計段階から部材の評価基準や試験方法をつねに検討。長期信頼性に影響する部品は厳しい規定を設け、徹底したレビューを繰り返し行った上で、基準に達するまで何度でも改善・検査を行います。製品をより長期間、安定して使用いただくために、小さな部材にまでこだわりを持って部材受け入れを行っています。

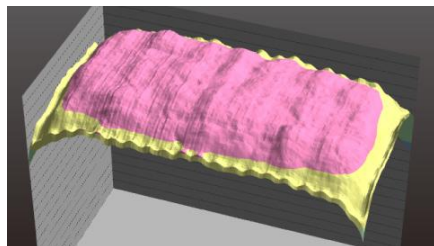
海外での生産においては海外の品質拠点から、継続的に品質改善活動を支援。問題解決活動を標準化することで品質管理の仕組みを充実させ、問題の再発防止、予防に努めています。さらに、サプライヤーと品質情報を共有化し部材の改善に取り組む他、出荷前にシステム試験を行うことや、デジタルシネマ機については一台一台画像調整をするなど、製品の高品質化を実現しています。

出荷を開始した製品は量産開始後もライフテストを継続するとともに、市場での品質状態をチェック。万一不具合が発見された場合は、迅速に問題を特定し対策・改善を図ります。また、サポートパックなど安心してお使いいただける体制を用意しています。

ディスプレイの品質への取り組み

当社のディスプレイ製品は、ビジネスからプロフェッショナル、パブリック向けなど、多彩なラインアップを展開しています。ディスプレイの使用環境が広がる中、長期間にわたる連続稼働や、高温あるいは低温の過酷な環境条件でも安定した表示を求められるなど、ニーズも多岐にわたり、かつ厳しいものになっています。より高いレベルの映像品質、耐久力、安全性といった観点から、数々の評価試験を行っています。

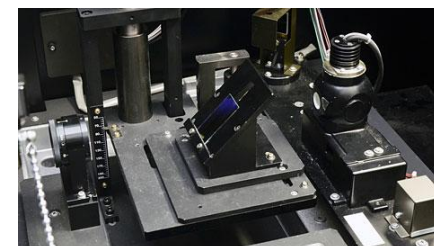
- ・ユニフォミティ評価
- ・光学特性試験
- ・ライフ試験
- ・コンパチビリティ試験
- ・システム試験
- ・恒温槽試験
- ・粉塵環境試験
- ・振動・落下試験
- ・パレット転倒試験
- ・筐体鋼球試験
- ・壁掛け荷重試験
- ・静電気サージ試験
- ・雷サージ試験
- ・瞬時停電試験



プロジェクターの品質への取り組み

ビジネスシーンでの効果的なコミュニケーションを築くために、高い表現力を求められるプロジェクター。設置方法や設置環境が多岐にわたることから、あらゆる状況を想定して各工程で徹底した評価試験を行っています。製品の高性能化のため、またいつまでも快適にご利用いただくため、映像品質をはじめ、信頼性、安全性の向上に取り組んでいます。

- ・画質確認試験
- ・色ムラ評価
- ・画面明るさ測定
- ・分光特性分析
- ・光学シミュレーション
- ・恒温槽試験
- ・粉塵環境試験
- ・振動・落下試験
- ・連続衝撃試験
- ・冷却性能評価
- ・ランプ破裂試験
- ・静電気サージ試験
- ・雷サージ試験
- ・天吊荷重試験



製品を安全に使用していただくために

製品に関して、受入検査、製造工程、出荷検査及び市場において、資材、製品に不具合が発生した場合の対応手順を設けるとともに、市場出荷済み製品に不適合があると判明した場合の、リコール手順を含む緊急事態への準備及び対応の手順を設けています。

また、製品安全に使用していただくために、安全で効率的な使用法・メンテナンスに関する情報をお客様に提供しています。

アフターケアの取組み

出荷を開始した製品は量産開始後もライフテストを継続するとともに、市場での品質状態をチェックしています。万一不具合が発見された場合は、迅速に問題を特定し、対策・改善を図っています。

保守サービス

ご導入後の機器を良好な状態でお使いいただくための、サポートパックなど安心してお使いいただける体制を用意しています。

特別保守サービス

天災により生じた故障・損傷は、保証期間の有無にかかわらず、災害救助法の適用地域の方からの修理依頼は、修理可能な状態の製品について特別価格（有料）で修理対応を行っています。

ダウンロードサービス

Webページより、当社商品のカタログや取扱説明書、機能を追加するアップデートソフトウェア、当社プロジェクターに付属しているCD-ROM内のUtilityソフト最新版、当社ディスプレイの三面図などがダウンロードできます。

製品リサイクル回収サービス

地球環境保全と資源の有効活用のため、事業系（法人ユーザー様）の使用済みディスプレイおよびプロジェクターの回収・再資源化を行っています。また、「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で使用済みになったディスプレイの回収・再資源化を行っています。

運用・導入支援サービス

プロジェクターとディスプレイの幅広いラインアップと、デジタルサイネージをはじめとした数々の映像ソリューションをご体感いただけるショールームをご準備しています。最新モデルの検証、動作確認から、具体的な使い方・活用提案を通して、お客様のイメージを具現化し、新たな映像ソリューションをご体感いただきながら導入のご支援をします。



機器導入にあたっては、お客様のニーズに応じたさまざまなご要望に幅広く応えるべく、カスタマイズサービス、配送時組立サービス、カラーキャリブレーションサービス、医療用ディスプレイネットワーク品質管理ソフトウェア導入サービス等をご用意しています。

お客様満足の向上

お客様からの製品導入に関するご相談、修理をはじめとするお問い合わせ等に応えるためには、丁寧で新設な親切な対応だけでなく、お客様の期待に応えられる高い付加価値の提供が求められています。

そこで当社では、Webページのサポート・サービスサイトの充実と、お客様の声に耳を傾けるコールセンター対応の向上に取り組んでいます。

当社のカスタマーサポート部門には修理をはじめとするお問い合わせの他、様々なご意見やご要望を頂戴します。私たちはお客様の声に真摯に耳を傾け、社内に展開することで、ご要望にどのような技術とサービスで実現するか、価値創造に取り組んでいます。

安定運営への取り組み

お客様相談窓口の運営においては、大規模災害等が発生した際でも業務を安定的に継続することが求められます。当社は非常時でもコールセンター業務を継続できるよう、要員確保と状況に合わせてコールセンター機能の切替え等の復旧手順マニュアルを定め、BCP対策に取り組んでいます。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「人権・労働」について以下の通り行動基準を定め、本行動規範に基づき、サプライチェーンを含めたあらゆる事業活動の場において、基本的人権を尊重した行動を実践しています。

人権・労働

■強制的な労働の禁止

すべての従業員をその自由意思において雇用し、また従業員に強制的な労働を行わせない

■非人道的な扱いの禁止

従業員の人権を尊重し、虐待や各種ハラスメント（嫌がらせ）をはじめとする過酷で非人道的な扱いを禁止する

■児童労働の禁止

最低就業年齢に満たない児童対象者を雇用せず、また児童の発達を損なうような就労をさせない

■差別の禁止

求人・雇用における差別をなくし、機会均等と処遇における公平の実現に努める

■適切な賃金

従業員に少なくとも法定最低賃金を支払い、また不当な賃金減額を行わない

■労働時間

法定限度を超えないよう、従業員の労働時間・休日・休暇を適切に管理する

■従業員の団結権

労働環境や賃金水準等の労使間協議を実現する手段としての従業員の団結権を尊重する

■少数者への配慮

少数者への差別禁止だけでなく、その権利の保全にむけた配慮を推進する

■外国人従業員への配慮

特別な人事管理・就業管理を要する外国人従業員ならびに外国人実習生の人権を損ねることがないように配慮する

人権に関する教育の実施

人権に関する教育は、課題解決に向けた重要施策のひとつと考え、意識啓発のために全社員を対象に「人権」に関する教育を実施、基本的人権の尊重についての意識向上を図っています。2024年度は「①DE&Iとは ②当社の取り組み ③LGBTQ+への理解促進」について学習を実施しました。

児童労働・差別の禁止

採用段階において、最低就業年齢に満たない児童対象者を雇用しないために、採用候補者の年齢確認を行っています。また、採用情報を一般に公開し、採用過程の透明性を確保することで、差別のない雇用機会の均等を実現しています。

採用面接にあたっては、本人に責任のない事項を把握する質問や、本来自由であるべき事項を把握する質問はしないこと等の面接官向けの面接指導を実施しています。

お取引先に対する人権の尊重

社会的責任を着実に推進するため、自社に限らずお取引先様向けに当社のCSR調達方針を伝達し、サプライチェーン全体でCSRへ取り組むことを推進しています。

また、社外ステークホルダーに対しての意見収集の場として、webサイト上にお取引先様向け相談窓口を設置しています。

適切な賃金

男女の賃金の差異について、未是正のジェンダー間の賃金格差の課題を理解し、男女共同参画を進めることにより改善に向けて取り組んでいます。賃金体系において、性別属性その他による格差はありません。

労働時間の管理

自律的にメリハリのある働き方を推奨し、休暇制度の充実と生産性・効率性を高めた働き方の実現に取り組んでいます。

休暇制度においては、有給休暇以外に育児や介護、ヘルスケア、ボランティア、自己啓発等で取得できる多目的休暇制度を設けると共に、勤続年数に応じたりフレッシュ休暇制度を設けています。

労働時間管理においては、長時間労働の是正に向けて各職場における時間外労働の削減に努めています。時間外労働を前提としない働き方への転換を進めるなかで、2024年度の一月当たりの社員（組合員）の平均残業時間は13時間42分でした。

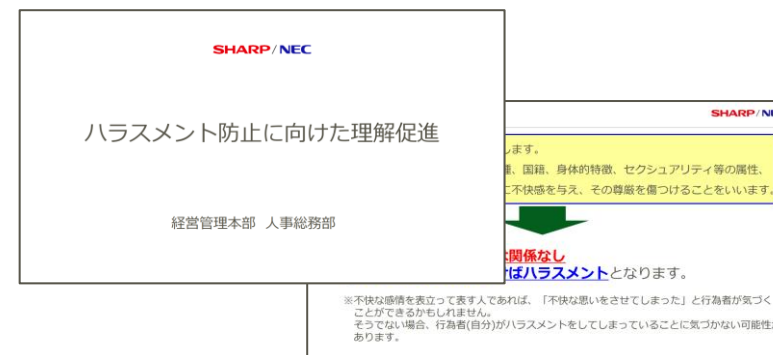
社員の権利の尊重と対話を重視した労使関係

法令に基づき、社員の団結権と団体交渉権を尊重しながら労使の信頼関係の強化を図っています。当社では、労働組合が労働三権（団結権、団体交渉権、団体行動権）を保有することを認めています。

労使幹部が対話する労使協議の場を定期的に設定するとともに、労使が経営状況や職場環境課題についての意見・情報交換を定期的に行っています。また、組合員の労働条件に影響を及ぼす事項については、事前に協議することとしています。

ハラスメントの未然防止

職場におけるハラスメントの未然防止のため、全社員を対象とした、多様性の理解促進やハラスメントの問題に関する研修を実施しています。本年度は「ハラスメントの防止に向けて」シャープグループeラーニング研修を2024年12月に実施、各種ハラスメントの禁止について浸透を図りました。また、社内ポータルサイトにハラスメント防止に向けた啓発コンテンツを掲載しました。



ハラスメント防止に向けた理解促進資料の公開

グローバルにビジネスを展開する当社では、基本的人権を尊重し、性別や国籍の違い、多様な価値観を受け入れ一人ひとりが互いの個性を尊重し合うことで新しい価値を生み出し、社会に貢献できるような環境づくりを推進しています。

ダイバーシティ・マネジメントは「多様な人材を活かす戦略」であり「経営戦略」そのものと捉えています。人材採用から人材活用まで、様々な角度から活気あふれる企業風土を醸成しています。

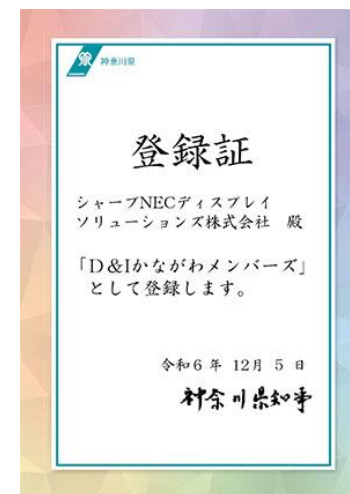
DE&Iの取組み

DE&Iは、Diversity（多様性） Equity（公平性） Inclusion（包括性）の3つをあわせた言葉です。D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）は、多様な人材が互いに認め合い、一人ひとりが能力を十分に発揮して活躍できる環境を築くことを指します。従来のD&Iの考え方に「Equity（公平性）」を加えたもので、違いに着目した「公平」な機会提供のもと、互いに尊重しながら活躍できる環境づくりを目指した概念です。

当社ではDE&Iを推進するなかで、24年度はDE&Iに関するウェブサイトを開設し、「アンコンシャス・バイアスに気づくヒント」「チームで成果を出すための基本スキル」「多様性社会におけるリーダーシップ」などの情報提供を通じて、従業員啓発に取り組みました。

関連団体への参加

当社は24年度にD&Iかながわメンバーズに登録しました。メンバーズ会員（登録企業・団体）が互いに情報を共有し、高め合い、さらにその成果を発信することで、女性活躍推進に加えてジェンダー平等を始めとするD&Iの取組をメンバー全体で推進していきます。



女性活躍推進への取り組み

2016年4月に施行された「女性活躍推進法」に基づく行動計画に沿って、当社は2027年3月末までの目標を定め、男女共同参画を進め、女性社員のさらなる活躍推進に積極的に取り組んでいます。

性別属性にとらわれず活躍を公正に評価するなかで、係長級にある者に占める女性社員の割合は、2022年度10.1%から、2023年度12.8%、2024年度は17.0%へ増加しました。一方で未だ女性管理職比率は低いことが課題であることを認識し、女性自身が自らが自分らしいキャリアを考え自己実現できるよう、啓発コンテンツの配信や外部研修への派遣を通じて「なりたい姿」として上位層を目指す女性社員を支援しています。

当社のダイバーシティ・マネジメントに関する取り組み取材いただきました。

[取材記事はこちら](#)をご覧ください。



性別や国籍にとらわれず
多様な価値観を
尊重しながら
働ける環境って
本当ですか？

グローバル人材の活躍

世界120を超える国と地域にお客様がいる私たちは、海外販売拠点・販売代理店との信頼関係維持・発展が不可欠です。グローバル人材が、国境を越えた海外のビジネスパートナーとの円滑なビジネスコミュニケーションを通じて、現地への情報シェア、現地販売促進活動のサポート支援に貢献しています。

人材採用・人材活用

事業拡大を担う人材の確保と、活気あふれる企業風土の醸成を図るため、新卒採用とともに、キャリア採用の強化に取り組んでいます。2024年度の中途採用比率は75%となります。グローバルに事業を展開する当社では、現場ニーズに即したグローバル人材の活用に取り組んでおり、国内における留学生、外国人の採用拡大を推進しています。

当社は、各種人事制度の整備を進めることで、多様な人材がやりがいを持ち、より活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。

雇用延長制度

「長年培ったスキルやノウハウを社会に還元する」との観点より、定年退職を迎えた社員が引き続き活躍するための「雇用延長制度」を設けています。

職種転換制度

1人ひとりが描くキャリア・ライフプランに合わせた働き方ができるように、職種転換制度を設けるとともに、異動の流動性を確保し希望する職種や勤務地で活躍できるよう社内公募による配置転換制度を導入しています。2024年度、社内公募により配置転換した社員は男性1名、女性2名でした。また、一般職から総合職へ雇用形態を転換した人数は男性0名、女性1名でした。

セカンドキャリア支援制度

セカンドキャリアの開発を自ら計画・実施する社員に対して、会社として各人の人生設計への主体的取り組みを支援する制度を設けています。

障がい者の職場環境の整備

障がいを持ったメンバーが個々のスキルを活かして活躍できる職場づくり、安全な職場環境づくりに務めています。

福利厚生

各種福利厚生制度を導入し、社員が安心して働ける環境を整えています。

財産形成	財産形成貯蓄制度、確定拠出年金
社宅制度	新入社員用借上社宅制度、転勤者用社宅制度、厚生用家賃補助制度
厚生施設	食堂、健康管理センター、グラウンド、テニスコート（事業所により異なる）
その他	企業年金基金、退職金制度、慶弔見舞金制度、グループ保険、人間ドック等健診費用補助、多目的休暇、リフレッシュ休暇など

ワークライフマネジメントの推進

当社はさまざまなライフイベントに対応しながら仕事と家庭生活の両方を充実させることができるよう、働きやすい職場環境制度を整えています。

職場内で男性の育児参加への理解を示すことで、配偶者出産の場合の公休や多目的休暇制度を使用して家庭時間を確保するなど、男性社員の育児参加が進んでいます。

育児関係	育児休職制度、育児短時間勤務制度、配偶者出産休暇、子の看護休暇産後パパ育休（出生時育児休業）、多目的休暇制度、在宅勤務制度、フレックス制度
介護関係	介護休職制度、介護短時間勤務制度、介護休暇、多目的休暇制度、在宅勤務制度、フレックス制度

当社は社員一人ひとりが会社にとってなくてはならない「人財」と捉え、人財を育てその能力を最大限に活かし、会社とともに成長できる環境を整備しています。

人材育成

新入社員向けに「ビジネスマナー研修」社内業務理解を深めるための「新入社員研修」を実施しています。

階層別研修では、それぞれの節目で必要な知識やスキル、マインドを身につけるため「中堅社員研修」「管理職研修」を実施し、計画的にマネジメント力の強化を図っています。そのほか、グループ全体でシャープの経営理念、経営信条および行動規範に基づき各種教育を定期的に実施し、社員が遵守すべき事項の周知、知識向上を図っています。

自己啓発支援

シャープグループ自己研鑽施策として、各種通信教育、オンライン語学研修など、誰でも気軽に学べる機会を提供しています。そのほか、事業所内TOEIC受検補助、公的資格取得補助などを取り入れております。

能力開発研修

シャープグループ全社勉強会や、外部派遣研修を通じて、人事系知識から技術系まで、仕事で必要としている専門知識やスキルを高める機会を設けています。

評価制度と処遇

会社業績と個人評価に連動した賞与・昇給制度により、成果を上げた社員に報いる仕組みとしています。半期ごとに目標設定面談を実施し、目標の進捗や貢献度・成果について共有します。自己評価記入後は評価面談を実施、評価結果は本人へフィードバックすることで、次の成長につなげています。

若年者に対する就業体験機会の提供

若年者に対するインターンシップ等の職業体験機会の提供に取り組んでいます。業界・企業説明会や、仕事を進めるうえでの課題発見や解決策提案といった職業体験を通じて、学生のキャリア形成支援に貢献します。

2024年度は主に技術職志望の学生を受け入れ、ソフトウェア設計開発等の職業体験インターンシップを実施しました。

オピニオンサーベイ（社員意識調査）

会社に対する共感度合を可視化する意識調査としてオピニオンサーベイ（社員意識調査）を実施しました。社員からの回答をもとに結果を分析し、職場環境の改善に役立てております。なお、社員意識調査実施にあたっては、匿名性を守り、人事評価には一切関連性はないことをお伝えしております。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「安全衛生」について以下の通り行動基準を定めております。

安全衛生

■機械装置の安全対策

自社で使用する機械装置類に適切な安全対策を講じる

■職場の安全

職場の安全に対するリスクを評価し、また適切な設計や技術・管理手段をもって安全を確保する

■職場の衛生

職場において人体に有害な生物や化学物質および騒音や悪臭などに接する状況を把握し、また適切な対策を講じる

■労働災害・労働疾病

労働災害および労働疾病の状況を把握し、また適切な対策を講じる

■緊急時の対応

生命・身体の安全を守るため、発生しうる災害・事故などを想定のうえ、緊急時の対応策を準備し、また職場内に周知徹底する

■身体的負荷のかかる作業への配慮

身体的に負荷のかかる作業を特定のうえ災害・疾病に繋がらぬよう適切に管理する

■施設の安全衛生

従業員の生活のために提供される施設（寮・食堂・トイレなど）の安全衛生を適切に確保する

■従業員の健康管理

全ての従業員に対し、適切な健康管理を行う

安全衛生推進体制

会社の事業所で働く全ての社員の安全確保と健康の保持増進を図るとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的として、事業所の労働災害の防止および安全衛生水準向上のための管理責任体制を明確化しています。

安全衛生管理体制の一層の徹底と維持向上活動の推進を図るため、労働安全衛生法に基づき、会社選出委員、組合選出委員、産業医とともに「安全衛生委員会」を毎月開催しています。

年間の全社安全衛生活動方針や目標、取り組み実績、施策の見直し等の情報は、ウェブサイトを通じて社員に展開することで、事故・災害の防止、快適な職場づくりと心と体の健康づくりに努めています。



安全衛生パトロールの実施

実験室を備える湘南テクニカルセンターでは、設備の安全検査と、職場内の快適で安全な環境を維持するため「安全衛生パトロール」半期毎に実施しています。

2024年度は防火対策として、コンセントのトラッキング対策を実施しました。

2024年度安全衛生目標と実績

2024年度 安全衛生目標		目標	実績
事故・災害防止	業務上災害ゼロ	0件／年間	0件
	休業災害ゼロ	0件／年間	0件
	通勤途上災害ゼロ	0件／年間	2件／年間
快適な職場づくり	安全衛生パトロール実施と改善	上・下／各1回	6月・12月
こころと体の健康づくり	健康診断・特殊健康診断の実施	100%受診	100%
	ストレスチェック結果に応じた職場改善	結果報告 改善対応	実施
	長時間労働者対応	計画的実施	実施

安全衛生委員会分科会の開催

現地立会等に従事する社員を主な対象として、年2回安全衛生委員会分科会を開催しています。24年度は、仮組及び現場での立会・作業・工事等の対応について問題点、ヒヤリハット事例等を共有し、安全衛生面での確認・改善を行いました。

禁煙促進に向けた活動

24年度は禁煙促進に向けた活動を推進するため、職場内喫煙ルームの一部閉鎖を実施しました。また、健康保険組合の「禁煙サポート活動」を社内周知し、本活動を通じて、喫煙者への禁煙支援の提供を進めています。

海外赴任者に対する健康管理

海外赴任者については、法定の赴任時・帰任時健康診断に加え、駐在期間中も国内勤務の社員と同様の健康管理支援を実施しています。

実験室の管理

実験室の管理においてはクリーンアップに関するガイドラインを定め、社員全員が同一意志と認識のもと、効率的な職場環境づくりと災害のない安全で快適な職場環境の維持に努めています。各実験室には管理責任者を定め、実験室を随時点検し、適正な管理がなされているか確認を行っています。



社員の健康増進の取り組み

全ての社員に対し適切な健康管理を行うことを定め、社員の健康増進に取り組んでいます。具体的には、定期健康診断結果に基づく、産業医の面談や保健指導による生活習慣病改善・減量指導の強化、禁煙サポート活動などを推進しています。

そのほか、健康意識向上を目的とした、健康e-learningの実施、ポータルサイトによる情報発信、全社チームウォーキングイベントの開催など、さまざまな健康づくり施策を実施しています。

職場内には健康管理室を設置し、常駐看護師による健康相談をいつでも実施できる体制を整えています。



メンタルヘルスケアの強化

法定ストレスチェック制度を積極的に活用し、自身のストレス状況の気付きによるメンタルヘルス不調の未然防止、早期発見・早期ケアの取り組みを行っています。ストレスチェックの結果、スコアが設定した基準を超える全社員に対しては面談を実施し、ストレス対処法へのアドバイスなどを実施しています。また、ストレスチェック結果は集団ごとに集計・分析され、必要に応じて職場環境の改善に活かしています。

そのほか、面接カウンセリング、メンタル支援プログラム、職場復帰支援プログラムの体制を整備し、メンタルヘルスケアの強化に努めています。



おおいまちSDGsパートナー活動

当社は、開発拠点である湘南テクニカルセンターにおけるサステナビリティ活動を評価いただき、町とともに取り組む「おおいまちSDGsパートナー」に認定されています。

2024年5月には「酒匂川統一美化キャンペーン」に参加、大井町SDGsパートナー企業・団体等総勢249名で酒匂川周辺の清掃を実施しました。

11月には「第13回大井町環境展」に伴う町内ゴミ拾いウォーキングを実施しました。

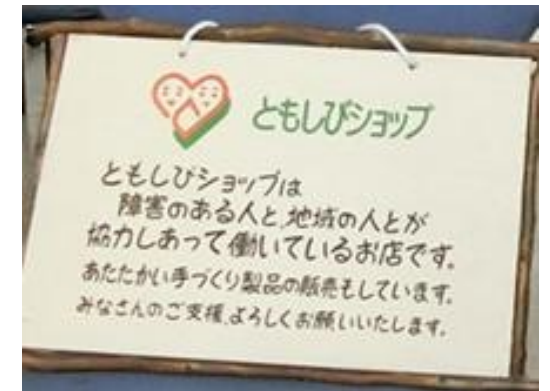
当社は地域社会の一員として地域の自然を守るため、これからも社会貢献活動に取り組んで参ります。



ともしびショップゆう社内販売会

神奈川県社会福祉協議会「ともに生きる福祉社会づくり」の活動に賛同し「ともしび運動」から生まれたふれあいカフェ「ともしびショップゆう」の手作り製品・社内販売会を定期的開催しています。のどかな田園風景が広がる大井町保健福祉センターにあるふれあいカフェ「ともしびショップゆう」は、障がいのある人の社会参加の場として生まれたお店です。

湘南テクニカルセンター内における社内販売会を通じて、地域社会との交流の場が生まれ、誰もが平等に働く社会に貢献しています。

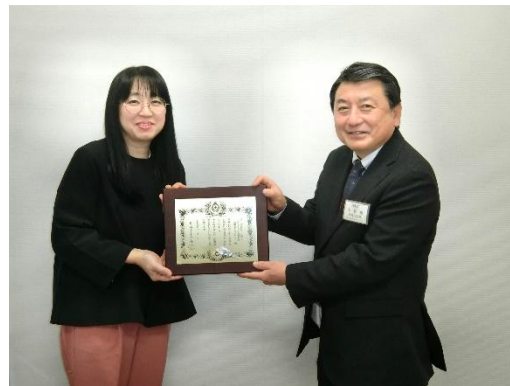


献血活動

開発拠点である湘南テクニカルセンター内において、1994年から30年以上に渡って献血活動に取り組んでいます。

2024年度は6月と12月に総勢38名にご参加いただき、献血活動を実施しました。当社の永年に渡る赤十字事業への貢献に対し、日本赤十字社より「金色有功章」を受章いたしました。

献血とは健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。今後も定期的な献血活動を通じて、社会に貢献して参ります。



募金活動

当社は地域社会の一員として、毎年10月に赤い羽根共同募金を実施しています。赤い羽根共同募金は都道府県ごとに行われ、集まった募金は寄付した地域で、様々な社会課題や地域課題を解決するために役立てられています。

当社は今後も募金活動を通じて、誰もが安心して暮らせるための活動を積極的に応援して参ります。



緑の維持

シャープNECディスプレイソリューションズでは、生物多様性保全活動のひとつとして地域の自然と生態系を守るため、敷地内に湿生植物「ミゾコウジュ」「ホソイ」の保護等を目的とした湿生植物保護エリア（サクチュアリ）を設けています。「ミゾコウジュ」は地方の貴重種、「ホソイ」は神奈川県のご貴重種として選定された植物で、共に当事業場建設前の計画地に生息していたものをサクチュアリに移設保護しました。サクチュアリは水辺性の鳥類「サギ」や「セキレイ」などの食餌・休息地でもあります。



使い捨てカイロ回収運動

一般社団法人Go Green Japanの「使い捨てカイロ」リサイクル活動（使い捨てカイロの中身を取り出し、主な成分である鉄と炭の効果を利用して水質浄化剤や土壌改良剤を加工製造する活動）に賛同し、ゴミとして捨てられるだけだった使い捨てカイロを事業所内で収集し、提供することで、間接的にリサイクルに取り組んでいます。

本取組は、社員1人ひとりがボランティアに対する意識を高めることに繋がっています。



エコキャップ回収運動

大井町社会福祉協議会とパートナーシップのもと、2017年よりペットボトルキャップ回収運動に取り組んでおります。集めたペットボトルキャップは、回収業者に買い取られて、その買取金額の一部が寄付になります。買い取られたペットボトルキャップは、プラスチックのリサイクル資源として生まれ変わります。

これまで、当社単体で累計で80万個のペットボトルキャップを回収し、約930人の子どもたちにワクチンを贈ることができました。



世界の各拠点における活動

世界の各拠点でも、地域に根差した社会貢献活動を積極的に行っています。ヨーロッパの販売拠点の一つであるSharp Nordicにて、地域貢献・社員の環境意識向上を目的とし、オフィス周辺の清掃活動を実施しました。

シャープグループでは「広く世界の文化と福祉の向上に貢献する」という経営理念のもと、各拠点コミュニティの一員として、地域の社会課題解決に取り組んでいます。



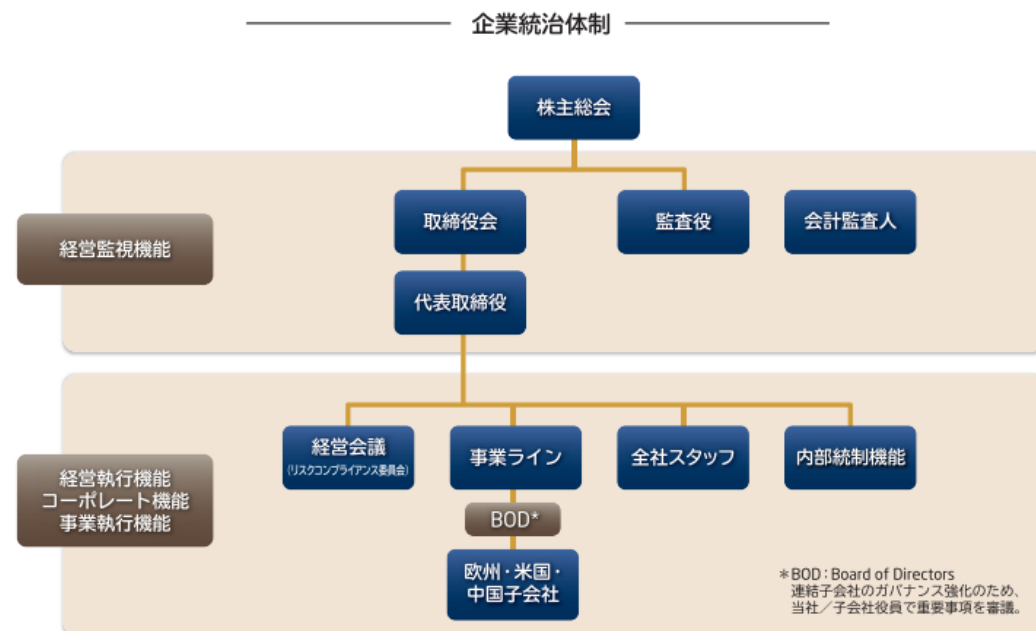
ガバナンス



シャープNECディスプレイソリューションズは、シャープグループの経営信条である「誠意と創意」のもと、映像ソリューション事業を通じて社会の発展に寄与し、全てのステークホルダーから信頼される会社であり続けるため、コンプライアンスを徹底し、透明性を確保した迅速かつ的確な経営により、企業価値の最大化を実現します。

コーポレートガバナンス体制

執行役員制度の導入により、経営監視機能を担う取締役会と業務執行機能を分離することで、迅速な意思決定と経営効率の向上を図っています。その上で、社外取締役、監査役、会計監査人により、取締役会の意思決定および執行役員による業務執行を多層的に監視することで、業務の適法性を確保する体制としています。



取締役会

法令や定款で定められた事項や重要な業務執行に関する事項を協議決定し、月次業績および業務執行状況につき報告しています。

毎月1回開催していますが、必要がある場合は、臨時取締役会を随時開催することとしています。

監査役

業務執行部門から独立した監査役は、株主総会によって選任された専門的な高い知見を有する非常勤監査役によって構成されています。会社の業務および財産状況の調査により、取締役の業務執行の適法性や妥当性に関し監査を行います。

会計監査人

当社は会計監査人である有限責任 あずさ監査法人の監査を受けて、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保しています。

経営会議

議長は社長が行い、本部長以上で構成されています。

経営の戦略に関する重要事項を協議決定し、あわせて業務執行の全般的統制を行います。

内部統制に関する年間スケジュールと取組み内容

時 期	取組み内容（事務局：経営管理本部 人事総務部）
4 月	・前年度下期分の運用状況チェックを実施 ⇒チェック結果をシャープ(株)主管部門へ提出
5月～6月	・「業務の適正を確保する為の体制」の修正の必要性など検討 ・「業務の適正を確保する為の体制に関する運用状況チェックシート」について 見直し実施(組織体制の変更等反映)
7月～9月	・チェックシートに基づき、取組施策の実行
10月	・上期分の運用状況チェックを実施
11月～1月	・チェックシートに基づき、取組施策の実行
2月～3月	・取組施策の実行および3月末までの完了に向け必要に応じたフォロー実施

チェックシート

[illegible]

シャープNECディスプレイソリューションズでは、コンプライアンスを「法令及び会社諸規定を順守し、企業倫理に沿った行動をとること」と定義し、コンプライアンス基本規定に基づき、社長が責任を負い、経営管理本部が関係部門と連携し、コンプライアンス推進体制を整備・運用するとともに、当社及び当社の子会社全体にコンプライアンスを徹底しています。

当社はシャープグループと連携して、シャープのコーポレート機能部門による組織横断的な業務管理、並びに当社における独自の業務管理を通じ、各業務の適正化とコンプライアンスの確保を図っています。

コンプライアンスに関する各種教育

コンプライアンスを推進していく上で、役員・社員が遵守すべき事項、禁止事項、取るべき行動の具体的な基準を示す「シャープグループ・コンプライアンス・ガイドブック」を社内公開するとともに、全社員に対してコンプライアンス意識の向上を目的とし、定期的に情報発信およびシャープグループeラーニング研修を実施しています。

リスク・コンプライアンス体制

当社ではCSR推進に関する重要方針、CSR推進上の具体的課題解決に関して審議する「リスク・コンプライアンス委員会」を原則として毎月開催しています。

コンプライアンスに関するリスクが顕在化した場合はシャープ株式会社がシャープグループとして定めた「コンプライアンス基本規定」及び「ビジネスリスクマネジメント規程」に基づいて、多様なビジネスリスクに総合的かつ体系的に対応するとともに、ビジネスリスクについては、企業環境等の変化に対応して、定期的に再識別・再評価しています。

また、リスクが顕著となった場合は、是正措置を講じて再発防止を徹底します。

委員長	代表取締役
委員	執行役員 各本部長
主催	経営管理本部人事総務部
概要	CSRに関する全社的重要課題の検討・推進 ・CSR推進に関する重要方針の審議 ・CSR推進上の具体的課題解決に関する審議（品質・安全性／環境／情報セキュリティ／公正取引関連／労働安全衛生／人権／個人情報保護／会計／知的資産に関する事項）
開催	1回／月

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「公正取引・倫理」について以下の通り行動基準を定めております。

公正取引・倫理

- 汚職・賄賂などの禁止
政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行わない
- 優越的地位の濫用の禁止
優越的地位を濫用することにより、サプライヤに不利益を与える行為を行わない
- 不適切な利益供与および受領の禁止
ステークホルダーとの関係において不適切な利益の供与や受領を行わない
- 競争制限的行為の禁止
公正・透明・自由な競争を阻害する行為を行わない
- 正確な製品・サービス情報の提供
消費者や顧客に対して、製品・サービスに関する正確な情報を提供する
- 知的財産の尊重
他者の知的財産権を侵害しない
- 適切な輸出管理
法令等で規制される技術や物品の輸出に関して、明確な管理体制を整備して適切な輸出手続きを行う
- 情報公開
法令等で公開を義務付けられているか否かを問わず、ステークホルダーに対して積極的に情報提供・開示を行う
- 不正行為の予防・早期発見
不正行為を予防するための活動を行い、また早期に発見し対応するための制度を整える
- コンピュータ・ネットワーク脅威に対する防御
コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、自社および他者に被害を与えないように管理する
- 個人情報の漏洩防止
顧客・第三者・自社従業員の個人情報を適切に管理・保護する
- 顧客・第三者の機密情報の漏洩防止
顧客や第三者から受領した機密情報を適切に管理・保護する

贈収賄防止のための取組み

当社は、シャープグループがコンプライアンス基本規定に基づき定めた「贈収賄等の防止に関する規定」に基づき、当社及び当社の子会社全体で贈収賄等の腐敗の防止に取り組んでいます。社内のチェック体制を明確化することで、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行うことがないよう、贈収賄未然防止に努めています。

デリケートな取引に関する特定の承認手続き

特に留意すべき代理店・コンサルタントなどの第三者の活用、公務員などの接待・贈答などについて事前承認プロセスを整備しているほか、諸団体への加盟、会費の増減額発生時、臨時会費発生時、退会時等について確認ポイントを明確化し、特定の承認手続きを踏むことで、贈収賄未然防止に努めています。

関連当事者取引等に関する手続き

関連当事者取引等は、適切に行われれば会社に利益をもたらしますが、関連当事者取引は対等な立場で取引が行われないおそれがあること、経営者が関与する取引等は、取引の妥当性が十分に検証されないおそれがあることから、結果として会社に不当な取引が行われるおそれがあります。

そのような背景から、シャープグループでは関連当事者取引等の管理を厳格化し、取引単位毎にリスク評価、事前チェック、事業年度終了後に事後チェックを実施しています。

贈収賄リスク監査の実施

シャープ監査等委員会の監査の中で贈収賄リスクマネジメントについての監査（規程・手続等の確認、遵守状況に関するヒアリングの実施、取引実態・証憑の精査など）を実施しております。

贈収賄防止に関する法令違反状況

2024年度、当社で腐敗行為に関する摘発事例はなく、これによる罰金・課徴金などの支払いはありません。

知的財産活動の考え方および管理体制

シャープNECディスプレイソリューションズでは、知的財産を経営上重要な資産のひとつとして位置づけ、積極的にその創出・保護に努めています。

また自社において知的財産活動を主体的に推進する一方で、シャープ株式会社の知財部門が分社化されたSHARP IP Infinity株式会社（SIPI）と緊密に連携する体制をとっています。SIPIと連携することで、シャープグループの一員として、シャープ株式会社の知的財産戦略と一体となった知的財産活動を推進しています。

特許ポートフォリオの構築と活用

将来にわたる事業の自由度を確保するために、競合他社に対抗しうる特許ポートフォリオの構築に取り組んでいます。特許ポートフォリオの構築に際しては、質の良い特許の比率を高めること、事業方針、事業環境に合わせて適切な量の特許を適切な国で保有することを意識しており、新たな特許獲得と共に定期的な棚卸も行っています。これにより、特許ポートフォリオ全体の価値の向上を図っています。

また事業競争力の強化に貢献していくために、知的財産の積極的な活用にも着手しています。

知財リスク管理

第三者の知的財産権を尊重する姿勢の堅持や、各種契約締結の際の知財観点でのリスク検討等を通じて、事業活動に伴い生じうる様々な知財リスクの軽減に努めています。

社内向け知財教育の実施

社内の知財意識を高め、前述の特許ポートフォリオの構築や知財リスク管理等を含めた知財業務の質の向上につなげることを目的とし、社内向けの知財教育を実施しています。2024年度は、技術開発部門に対して発明創出に関する知財教育を実施しました。

安全保障貿易管理

日本をはじめとする主要国では国際的な平和と安全を維持するため、武器そのものを含め、軍事転用可能な貨物、技術などが国際社会の安全性を脅かす国家やテロリスト等の手に渡らないよう、先進国を中心とした国際的な枠組みを作り、国際社会と協調して輸出等の管理を行っています。

日本においては、「外国為替及び外国貿易法（以下、外為法）」に基づき、適正な輸出管理を行うことが求められているなかで、当社では外為法等の遵守及び適切な輸出管理を実施するため「輸出取引管理規程」を定めて、輸出管理体制を構築し、輸出管理の運用を行っています。

シャープNECディスプレイソリューションズの輸出管理体制としては、代表取締役を安全保障輸出管理の最高責任者とし、関係部門に輸出管理責任者を配置して輸出管理の確実な遂行に努めています。

海外への輸出の際は、貨物/技術の該非判定、仕向地や取引相手先/最終需要者の確認、用途、取引条件に安全保障上の懸念がないかなどの社内審査を行い、法令に従った厳格な管理を行っています。また、輸出管理法令が改正された際には、社内運用の見直しを迅速に図り法令遵守に努めるとともに、米国の米国輸出管理規則(EAR)による再輸出規制の管理も行っています。

このような輸出管理の取り組み結果のもと、経済産業省から管理の厳格な輸出者のみに与えられる包括許可を取得しています。これらの体制を維持、発展させ、今後も適正な輸出管理を実施していきます。

貿易管理社内教育

安全保障貿易管理は、社員一人一人の正しい理解がなければ、適正な管理ができません。当社は輸出管理体制を維持・継続していくために、役員・全社員・実務者に対し、eラーニングなどを用いた下記各階層別の輸出管理教育を定期的実施しています。

[役員向け教育]

- ・ 年度輸出管理活動結果報告

[全社員向け一般教育]

- ・ 輸出管理の基本事項/輸出管理基礎教育

[実務者向け専門教育]

- ・ 輸出管理関係者基礎教育
- ・ 該非判定実務教育
- ・ 輸出手続き実務教育

シャープNECディスプレイソリューションズは、より良い商品やサービスを提供し社会の発展に寄与するため、お客様やお取引先様からお預かりした情報資産および当社の情報資産を守ることが責務と考え、「情報セキュリティグローバル基本方針」を定め、情報セキュリティの確保、秘密情報の管理に取り組んでいます。

この「情報セキュリティグローバル基本方針」は社外HPに掲載し、広く一般的に公開しています。

情報セキュリティ基本方針

制定 2004年 11月 1日

改定 2022年 9月 29日

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
代表取締役社長執行役員 山本 利明

当社は、より良い商品やサービスを提供し社会の発展に寄与するため、お客様やお取引先様からお預かりした情報資産および当社の情報資産を守ることが責務と考え、ここに情報セキュリティ基本方針を定め、実践することを宣言します。

- 当社は、情報セキュリティ管理体制を確立し、情報資産の適切な管理に努めます。
- 当社は、本基本方針に従い社内規程を整備・実施します。
- 当社は、情報セキュリティの確保に必要な教育を継続的に行います。
- 当社は、適切な人的・組織的・技術的施策を講じ、情報資産に対する不正な侵入、漏えい、改ざん、紛失・盗難、破壊、利用妨害などが発生しないよう努めます。
- 当社は、万一情報資産にセキュリティ上の問題が発生しても、その原因を迅速に究明し、その被害を最小限に止めるとともに再発防止に努めます。
- 当社は、情報セキュリティに係る法令、国が定める指針、その他の社会的規範を遵守します。
- 当社は、以上の活動を継続的に見直し、改善に努めます。

情報セキュリティの運用体制

- 当社の情報セキュリティに関連し、以下責任者、担当者を定めています。
 - 情報セキュリティ統括責任者：社長が就任
 - 情報セキュリティ管理責任者：IT部門長が就任
 - 情報セキュリティ管理者：IT部門のメンバーで構成
- 情報セキュリティインシデント発生時は、当社の責任者、担当者、シャープグループの情報セキュリティ推進事務局にエスカレーションするよう規定しています。

監査の実施

- 当社の情報セキュリティ対策が正しく運用されていることを確認するため、以下の監査が定期的に実施されています。
 - 社内監査（年1回）
 - 外部監査（年1回）

情報セキュリティ教育

- 新入社員、中途採用者、派遣社員などが就業を開始する前に「情報セキュリティ教育」を実施し、情報セキュリティに関する注意点やルールを周知しています。
- 全社員を対象とした「情報セキュリティ教育」を年に1回実施し、情報セキュリティの最新情報や注意点などを学習しています。

各PCの情報セキュリティセルフチェック

- 年に1回、各PCのセキュリティ対策状態の棚卸が行われ、情報セキュリティ統括責任者に報告を実施しています。

PCのセキュリティ対策

- 毎日、各PCのOSやウィルスソフト定義などが最新化されているかのチェックを自動で実施しています。
- 最新化されていないPCがある場合、IT部門で検知できるようになっており、対象PCが発見された場合、即日対応を実施しています。
- 万が一セキュリティ対策が一定期間実施されていないPCがあった場合、社内イントラネットやVPNの接続ができないようにネットワークから遮断されます。
- 情報漏洩対策、IT資産管理ツールを導入し、PCの操作ログ収集、Webアクセス監視、外部デバイス監視などの機能で、各PCの利用状況を把握・管理し、情報漏洩リスクを低減しています。

アクセス権のコントロール

- ユーザー単位および部門単位でのアクセスコントロールを厳格に実施しており、各ユーザーに対してその役割に応じた最小限の権限を付与する運用とし、情報漏洩や不正データ登録のリスクを低減しています。

各種棚卸の実施

- 外部記憶媒体や秘密情報の保持状況、管理方法について各部門に対し定期的に棚卸を実施し、適切に管理されていることを確認しています。

標的型攻撃メール訓練

- 近年被害が急増しているメールを利用した攻撃に対し、その手法や見分け方について理解を深めたり、社内エスカレーション手順の確認を行うための訓練を定期的実施しています。

社内への情報発信

- 情報セキュリティ関連のホームページ（情報セキュリティポータル）を公開し、社員に対して情報セキュリティ意識を向上させるための情報提供を行っています。

事業継続マネジメントの推進

シャープNECディスプレイソリューションズでは、大規模災害発生等により被災した場合でも、指揮命令系統を維持しつつ、速やかに事業復旧が出来るよう、事業継続計画（Business Continuity Plan）を策定しています。

当社は毎年、事業継続計画書に沿った実施・運用を検証するため、BCP対策本部メンバーを招集し、BCP訓練を実施しています。訓練結果は検証・評価するとともに、是正を行い、事業継続に強い会社になるため継続的改善を図っています。

BCP基本方針

- （１）従業員等の生命・安全の確保
- （２）会社として求められる社会的責務の遂行
- （３）事業の維持、早期復旧
- （４）事業中断から生じる経営ダメージのミニマム化
- （５）ネットワーク障害から生ずる被害のミニマム化と早期復旧

安否システムの導入

シャープグループでは、従業員の生命・安全の確保を第一と考え、グループ全体で「安否確認システム」を導入しています。

安否確認メールは震度6弱以上の地震が発生した場合に対象被災地の社員に自動で送信され、メールを受信した社員が安否を報告することで、システム上で安全確認を行うことができます。有事の際に備え、毎年システムの動作訓練を実施しています。

防災・事業継続の対策

消防法等の法令に基づき、当社における防火・防災管理に必要な事項について定め、「職場防災体制」を構築するとともに、災害発生に備えた原則全員参加型の「総合防災訓練」を毎年実施しています。

2024年度は各拠点ごとに「避難訓練」を実施しました。訓練結果は検証・評価するとともに、消防計画や事業継続計画書への反映、見直し等に役立てています。



防災用品展示会の様子



湘南テクニカルセンター避難訓練の様子

コンプライアンス経営の実践、職場環境の改善および組織運営の健全化に資することを目的として、コンプライアンスに関する通報窓口「SNDSホットライン」を設置しています。

相談窓口では運用ルールに従って、相談者・行為者等のプライバシーを守り対応を行うこと、相談したことや事実確認に協力したことを理由に、相談者も協力者も不利益な処遇や不当な取扱いを受けないことを明確に規定しています。

またシャープグループとしての通報窓口「クリスタルホットライン」も活用しています。クリスタルホットラインは匿名での利用が可能で、法令違反、倫理違反、職場の人間関係等に係る諸問題等の通報窓口となっています。

各相談窓口では運用ルールに従って、いずれにおいても、通報の受付・事実調査を行い、その対応内容を通報者へ回答します。調査の結果、法令違反・社内規定違反、その他コンプライアンス違反が明らかになった等の場合は、改善策・再発防止策を講じています。

なお、クリスタルホットラインでは、通報対応完了から半年後に、通報者に対し通報したことを理由とした不利益の有無を確認する他、通報対応完了から一定期間経過後に、通報事案に関する是正措置・再発防止措置が適切に機能していることを確認しています。

ホットライン情報の公開

SHARP / NEC

ホットライン

① SNDSホットライン (当社独自)

② クリスタルホットライン (シャープグループ)

相談

経営管理本部 人事総務部

SHARP / NEC

① SNDSホットライン

○コンプライアンス・CSR問題

◇法令に違反する行為

◇シャープグループ企業行動憲章および行動規範を逸脱した行動

◇財務諸表に影響を及ぼす処理

◇取引先や社外関係者との不適切な関係

◇社内における不適切な処理

等、「不正では？」と感じた場合は、速やかに次頁連絡先までご連絡下さい。

○人権問題

◇ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)

◇人権侵害

◇職場での人間関係

等でお悩みの場合は、遠慮なく次頁連絡先までご連絡下さい。

SHARP / NEC

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社